元大期貨股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國 111 年及 110 年第三季

(股票代碼 6023)

公司地址：台北市中山區南京東路 2 段 77 號 2 樓(部分)、3 樓、4 樓、5 樓

電　　話：(02)2717-6000

元大期貨股份有限公司及子公司

民國 111 年及 110 年第三季合併財務報告暨會計師核閱報告

目　　錄

項　　目	頁　　次
一、　封面	1
二、　目錄	2 ~ 3
三、　會計師核閱報告	4
四、　合併資產負債表	5 ~ 6
五、　合併綜合損益表	7 ~ 8
六、　合併權益變動表	9
七、　合併現金流量表	10
八、　合併財務報表附註	11 ~ 79
（一）　公司沿革	11
（二）　通過財務報告之日期及程序	11
（三）　新發布及修訂準則及解釋之適用	11 ~ 12
（四）　重大會計政策之彙總說明	13 ~ 21
（五）　重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	22
（六）　重要會計項目之說明	22 ~ 40
（七）　關係人交易	40 ~ 49
（八）　質押之資產	49
（九）　重大承諾或有負債及未認列之合約承諾	49

項　　目	頁　　次

(十)　重大之災害損失	49
(十一)從事衍生工具交易相關資訊	50 ~ 51
(十二)依期貨交易法相關規定，本公司應符合財務比率之限制及其執行情形	52
(十三)專屬期貨商業務之特有風險	53
(十四)部門別財務資訊	53 ~ 54
(十五)重大之期後事項	54
(十六)重大交易事項相關資訊	54 ~ 55
(十七)轉投資事業相關資訊	56 ~ 57
(十八)國外設置分支機構及代表人辦理處資訊	57
(十九)大陸投資資訊	57
(二十)主要股東資訊	58
(二十一)財務風險管理	58 ~ 79

pwc 資誠

會計師核閱報告

(111)財審報字第 22001794 號

元大期貨股份有限公司　公鑒：

前言

元大期貨股份有限公司及子公司民國 111 年及 110 年 9 月 30 日之合併資產負債表，民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表、合併現金流量表，以及合併財務報表附註（包括重大會計政策彙總），業經本會計師核閱竣事。依期貨商財務報告編製準則、證券商財務報告編製準則及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範圍

本會計師係依照審計準則公報第六十五號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢（主要向負責財務與會計事務之人員查詢）、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

結論

依本會計師核閱結果，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照期貨商財務報告編製準則、證券商財務報告編製準則及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製，致無法允當表達元大期貨股份有限公司及子公司民國 111 年及 110 年 9 月 30 日之合併財務狀況，民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併財務績效，暨民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併現金流量之情事。

資　誠　聯　合　會　計　師　事　務　所

會計師　羅蕉森

會計師　李秀玲

金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 1070323061 號
前行政院金融監督管理委員會證券期貨局
核准簽證文號：金管證六字第 0960038033 號

中　華　民　國　111　年　11　月　4　日

資誠聯合會計師事務所 PricewaterhouseCoopers, Taiwan
110208 臺北市信義區基隆路一段 333 號 27 樓
27F, No. 333, Sec. 1, Keelung Rd., Xinyi Dist., Taipei 110208, Taiwan
T: +886 (2) 2729 6666, F:+ 886 (2) 2729 6686, www.pwc.tw

元大期貨股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國111年9月30日及民國110年12月31日、9月30日

（民國111年及110年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	資產	附註	111年9月30日 金額	%	110年12月31日 金額	%	110年9月30日 金額	%
	流動資產							
111100	現金及約當現金	六(一)及七	$ 9,489,969	9	$ 9,304,086	10	$ 7,847,879	8
112000	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	六(二)、七及十一	282,863	-	286,529	-	147,571	-
113200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-流動	六(五)	654,477	1	806,830	1	698,392	1
114070	客戶保證金專戶	六(三)及七	93,003,136	86	83,476,983	85	89,059,853	87
114100	借券保證金		893	-	-	-	-	-
114130	應收帳款		3,961	-	4,057	-	13,557	-
114140	應收帳款－關係人	七	1,147	-	2,002	-	3,339	-
114150	預付款項	七	17,953	-	13,776	-	17,784	-
114170	其他應收款		53,489	-	14,824	-	14,255	-
114180	其他應收款－關係人	七	131,676	-	4,266	-	3,803	-
114300	槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶	七	566,470	-	347,405	-	293,463	-
114600	本期所得稅資產		-	-	-	-	5,592	-
119000	其他流動資產		-	-	-	-	161	-
110000	**流動資產合計**		104,206,034	96	94,260,758	96	98,105,649	96
	非流動資產							
123200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	六(五)	2,181,662	2	1,932,733	2	1,865,685	2
125000	不動產及設備	六(八)	662,214	1	630,948	1	596,434	1
125800	使用權資產	六(九)	121,271	-	156,634	-	166,297	-
127000	無形資產	六(十)	73,031	-	86,979	-	40,694	-
128000	遞延所得稅資產		31,002	-	31,686	-	34,120	-
129010	營業保證金	六(六)及七	146,066	-	145,326	-	145,368	-
129020	交割結算基金	六(七)	459,865	1	544,465	1	549,141	1
129030	存出保證金	七	40,199	-	39,598	-	39,645	-
129130	預付設備款		86,819	-	139,189	-	131,613	-
129990	其他非流動資產－其他		18,114	-	11,416	-	11,416	-
120000	**非流動資產合計**		3,820,243	4	3,718,974	4	3,580,413	4
906001	**資產總計**		$ 108,026,277	100	$ 97,979,732	100	$ 101,686,062	100

（續次頁）

元大期貨股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國111年9月30日及民國110年12月31日、9月30日

（民國111年及110年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	負債及權益	附註	111年9月30日 金額	%	110年12月31日 金額	%	110年9月30日 金額	%
	流動負債							
212000	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	六(二)及十一	$ 30,950	-	$ 926	-	$ 6,451	-
214080	期貨交易人權益	六(三)及七	92,716,368	86	83,178,336	85	88,788,384	88
214100	槓桿保證金契約交易交易人權益		437,901	1	282,808	-	248,363	-
214130	應付帳款		167,442	-	136,856	-	138,693	-
214140	應付帳款－關係人	七	23,950	-	19,749	-	20,805	-
214160	代收款項		14,915	-	9,098	-	15,612	-
214170	其他應付款		260,497	-	192,019	-	134,787	-
214180	其他應付款－關係人	七	1,171	-	1,842	-	1,619	-
214600	本期所得稅負債		45,712	-	18,479	-	4,936	-
216000	租賃負債-流動	七	45,392	-	52,260	-	53,123	-
219000	其他流動負債	六(十一)	7,500	-	31,175	-	22,656	-
210000	**流動負債合計**		93,751,798	87	83,923,548	85	89,435,429	88
	非流動負債							
221100	應付公司債	六(十二)	1,497,684	1	1,497,401	2	-	-
226000	租賃負債－非流動	七	87,264	-	118,224	-	127,736	-
228000	遞延所得稅負債		40,275	-	11,191	-	-	-
229000	其他非流動負債		80,284	-	79,470	-	84,352	-
220000	**非流動負債合計**		1,705,507	1	1,706,286	2	212,088	-
906003	**負債總計**		95,457,305	88	85,629,834	87	89,647,517	88
	歸屬於母公司業主之權益							
	股本							
301010	普通股股本	六(十四)	2,899,763	3	2,899,763	3	2,899,763	3
	資本公積							
302000	資本公積	六(十五)	3,070,484	3	3,070,484	3	3,070,484	3
	保留盈餘							
304010	法定盈餘公積	六(十七)	1,228,957	1	1,132,477	1	1,132,477	1
304020	特別盈餘公積	六(十六)(十七)	2,701,014	2	2,508,054	3	2,508,054	2
304040	未分配盈餘	六(十七)	949,677	1	1,123,207	1	990,543	1
	其他權益							
305000	其他權益	六(十八)	1,719,077	2	1,615,913	2	1,437,224	2
906004	**權益總計**		12,568,972	12	12,349,898	13	12,038,545	12
906002	**負債及權益總計**		$ 108,026,277	100	$ 97,979,732	100	$ 101,686,062	100

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：林添富　　總經理：許國村　　會計主管：呂慧卿

元大期貨股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國111年及110年1月1日至9月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	111年7月1日至9月30日 金額	%	110年7月1日至9月30日 金額	%	111年1月1日至9月30日 金額	%	110年1月1日至9月30日 金額	%
	收益									
401000	經紀手續費收入	六(十九)及七	$ 947,727	95	$ 910,769	94	$ 2,882,860	96	$ 2,864,523	94
410000	營業證券出售淨(損失)利益	六(二)(二十)及七	(57,392)	(6)	22,431	2	(111,789)	(4)	104,938	4
421300	股利收入	六(二)	11,547	1	5,572	1	79,294	3	7,288	-
421500	營業證券透過損益按公允價值衡量之淨利益(損失)	六(二)	57,409	6	(28,111)	(3)	(23,390)	(1)	(11,322)	-
421600	借券及附賣回債券融券回補淨損失	六(二)	(75)	-	(159)	-	(75)	-	(49,017)	(2)
421610	借券及附賣回債券融券透過損益按公允價值衡量之淨利益	六(二)	78	-	147	-	78	-	35,719	1
424200	證券佣金收入	七	3,437	1	5,429	1	10,609	1	14,505	1
424300	受託結算交割服務費收入	六(二十一)及七	8,924	1	16,256	2	28,357	1	53,455	2
424400	衍生工具淨利益	六(二)(二十二)	20,152	2	27,520	3	113,595	4	12,663	-
424900	顧問費收入	七	1,363	-	3,589	-	5,463	-	10,110	-
428000	其他營業收益	七	2,253	-	667	-	7,234	-	808	-
400000	收益合計		995,423	100	964,110	100	2,992,236	100	3,043,670	100
	支出及費用									
501000	經紀經手費支出	六(二十三)	(194,933)	(20)	(196,598)	(21)	(599,838)	(20)	(605,778)	(20)
502000	自營經手費支出	六(二十三)	(167)	-	(1,173)	-	(355)	-	(2,749)	-
521200	財務成本	七	(38,937)	(4)	(2,647)	-	(54,513)	(2)	(6,089)	-
425300	預期信用減損損失及迴轉利益	六(四)	745	-	1,510	-	2,027	-	3,307	-
524100	期貨佣金支出	六(二十四)及七	(181,372)	(18)	(172,229)	(18)	(555,239)	(19)	(556,675)	(18)
524300	結算交割服務費支出	六(二十五)	(139,893)	(14)	(145,596)	(15)	(426,703)	(14)	(449,224)	(15)
528000	其他營業支出		(698)	-	(770)	-	(2,393)	-	(1,960)	-
531000	員工福利費用	六(二十六)	(258,659)	(26)	(181,186)	(19)	(628,827)	(21)	(556,001)	(18)
532000	折舊及攤銷費用	六(二十七)	(44,167)	(5)	(32,310)	(3)	(130,761)	(4)	(109,619)	(4)
533000	其他營業費用	六(二十八)及七	(121,644)	(12)	(113,114)	(12)	(375,802)	(13)	(364,598)	(12)
500000	支出及費用合計		(979,725)	(99)	(844,113)	(88)	(2,772,404)	(93)	(2,649,386)	(87)
	營業利益		15,698	1	119,997	12	219,832	7	394,284	13
602000	其他利益及損失	六(二)(二十九)及七	436,108	44	221,513	23	793,365	27	491,132	16
902001	**稅前淨利**		451,806	45	341,510	35	1,013,197	34	885,416	29
701000	所得稅費用	六(三十)	(81,472)	(8)	(47,620)	(5)	(190,789)	(6)	(152,653)	(5)
902005	**本期淨利**		$ 370,334	37	$ 293,890	30	$ 822,408	28	$ 732,763	24

（續次頁）

元大期貨股份有限公司及子公司
合併綜合損益表
民國111年及110年1月1日至9月30日
（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元
（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	111年7月1日至9月30日 金額	%	110年7月1日至9月30日 金額	%	111年1月1日至9月30日 金額	%	110年1月1日至9月30日 金額	%
	其他綜合損益									
	不重分類至損益之項目：									
805540	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價利益(損失)	六(五)(十八)	$ 97,730	10	$ 88,712	9	($ 65,087)	(2)	$ 285,727	10
	後續可能重分類至損益之項目：									
805610	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	六(十八)	60,322	6	(2,771)	-	128,698	4	(26,573)	(1)
805000	**其他綜合損益(稅後淨額)**		$ 158,052	16	$ 85,941	9	$ 63,611	2	$ 259,154	9
902006	**本期綜合損益總額**		$ 528,386	53	$ 379,831	39	$ 886,019	30	$ 991,917	33
	淨利歸屬於：									
	母公司業主		$ 370,334	37	$ 293,890	30	$ 822,408	28	$ 732,763	24
	綜合損益總額歸屬於									
	母公司業主		$ 528,386	53	$ 379,831	39	$ 886,019	30	$ 991,917	33
	普通股每股盈餘									
	基本及稀釋每股盈餘	六(三十一)	$ 1.28		$ 1.02		$ 2.84		$ 2.53	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：林添富　　總經理：許國村　　會計主管：呂慧卿

元大期貨股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國111年及110年1月1日至9月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	附註	歸屬於母公司業主之權益								
			資本公積		保留盈餘			其他權益		
		普通股股本	資本公積－股票溢價	資本公積－合併溢額	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益	權益總額
110年1至9月										
110年1月1日餘額		$ 2,899,763	$3,024,151	$ 46,333	$ 1,021,010	$ 2,294,034	$ 1,295,828	($ 64,985)	$1,342,428	$11,858,562
110年1至9月淨利		-	-	-	-	-	732,763	-	-	732,763
110年1至9月其他綜合損益	六(五)(十八)	-	-	-	-	-	-	(26,573)	285,727	259,154
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	732,763	(26,573)	285,727	991,917
109年度盈餘指撥及分配										
法定盈餘公積		-	-	-	111,467	-	(111,467)	-	-	-
特別盈餘公積		-	-	-	-	214,020	(214,020)	-	-	-
股東現金股利		-	-	-	-	-	(811,934)	-	-	(811,934)
處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具	六(五)(十八)	-	-	-	-	-	99,373	-	(99,373)	-
110年9月30日餘額		$ 2,899,763	$3,024,151	$ 46,333	$ 1,132,477	$ 2,508,054	$ 990,543	($ 91,558)	$1,528,782	$12,038,545
111年1至9月										
111年1月1日餘額		$ 2,899,763	$3,024,151	$ 46,333	$ 1,132,477	$ 2,508,054	$ 1,123,207	($ 97,223)	$1,713,136	$12,349,898
111年1至9月淨利		-	-	-	-	-	822,408	-	-	822,408
111年1至9月其他綜合損益	六(五)(十八)	-	-	-	-	-	-	128,698	(65,087)	63,611
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	822,408	128,698	(65,087)	886,019
110年度盈餘指撥及分配										
法定盈餘公積		-	-	-	96,480	-	(96,480)	-	-	-
特別盈餘公積		-	-	-	-	192,960	(192,960)	-	-	-
股東現金股利		-	-	-	-	-	(666,945)	-	-	(666,945)
處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具	六(五)(十八)	-	-	-	-	-	(39,553)	-	39,553	-
111年9月30日餘額		$ 2,899,763	$3,024,151	$ 46,333	$ 1,228,957	$ 2,701,014	$ 949,677	$ 31,475	$1,687,602	$12,568,972

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：林添富　　總經理：許國村　　會計主管：呂慧卿

元大期貨股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國111年及110年1月1日至9月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	附註	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
營業活動之現金流量			
本期稅前淨利		$ 1,013,197	$ 885,416
調整項目			
不影響現金流量之收益費損項目			
折舊費用	六(八)(九)(二十七)	110,465	101,401
攤銷費用	六(十)(二十七)	20,296	8,218
利息收入	六(二十九)	(511,918)	(276,196)
利息費用		54,513	6,089
股利收入	六(二十九)	(233,863)	(159,649)
預期信用減損損失及迴轉利益		(2,027)	(3,307)
處分不動產及設備損失	六(八)	-	76
租賃修改淨利益	六(九)	-	(502)
與營業活動相關之資產/負債變動數			
與營業活動相關之資產之淨變動			
透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動		1,375	788,544
客戶保證金專戶		(9,113,722)	(5,047,681)
應收期貨交易保證金		2,027	3,307
借券保證金		(893)	169,187
應收帳款		96	186,052
應收帳款－關係人		855	230
預付款項		(3,483)	(8,038)
其他應收款		2,708	(1,862)
其他應收款－關係人		(118,191)	2
槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶		(219,065)	985
其他流動資產		-	29,160
其他非流動資產－其他		(6,698)	(2,999)
與營業活動相關之負債之淨變動			
透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動		30,024	(214,537)
期貨交易人權益		9,162,355	5,071,564
槓桿保證金契約交易交易人權益		155,093	4,790
應付帳款		30,586	(19,218)
應付帳款－關係人		4,201	(2,781)
代收款項		5,817	5,998
其他應付款		36,012	(113,728)
其他應付款－關係人		(671)	1,429
其他流動負債		(23,732)	2,141
其他非流動負債		814	2,445
營運產生之現金流入		396,171	1,416,536
收取之利息		464,566	286,446
支付之利息		(22,694)	(5,173)
收取之股利		231,798	160,149
支付之所得稅		(133,789)	(237,354)
營業活動之淨現金流入		936,052	1,620,604
投資活動之現金流量			
取得透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產		(543,350)	(1,141,609)
處分透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產價款	六(五)	381,687	1,137,214
購置不動產及設備	六(八)	(37,237)	(26,946)
無形資產增加	六(十)	(2,905)	(6,203)
交割結算基金減少(增加)		84,600	(1,049)
存出保證金(增加)減少		(90)	4,403
預付設備款增加		(16,151)	(62,695)
投資活動之淨現金流出		(133,446)	(96,885)
籌資活動之現金流量			
租賃負債本金償還		(41,243)	(39,739)
發放現金股利	六(十七)	(666,945)	(811,934)
籌資活動之淨現金流出		(708,188)	(851,673)
匯率變動對現金及約當現金之影響		91,465	(13,377)
本期現金及約當現金增加數		185,883	658,669
期初現金及約當現金餘額		9,304,086	7,189,210
期末現金及約當現金餘額		$ 9,489,969	$ 7,847,879

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：林添富　　總經理：許國村　　會計主管：呂慧卿

元大期貨股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國111年及110年第三季

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

一、公司沿革

元大期貨股份有限公司(以下簡稱「本公司」)及子公司(以下統稱「本集團」)概況如下：

(一)本公司原名為寶來期貨股份有限公司，設立於民國86年4月9日。於民國92年9月1日，與瑞富羅盛豐股份有限公司合併，並變更名稱為寶來瑞富期貨股份有限公司。民國94年底因國外股東股權變動經民國95年2月15日臨時股東會通過並奉經濟部核准變更名稱為寶來曼氏期貨股份有限公司。

寶來曼氏期貨股份有限公司於民國100年10月6日經臨時股東會決議，與元大期貨股份有限公司合併，並經金管證期字第1000052507號函核准，換股比例為1：1.01，寶來曼氏期貨股份有限公司為存續公司，以民國101年4月1日為合併基準日，並同時更名為「元大寶來期貨股份有限公司」，再於民國104年5月21日股東常會決議更名為「元大期貨股份有限公司」。

(二)本集團之主要營業項目為國內外期貨經紀業務、自營業務、期貨顧問事業、期貨經理事業、證券自營事業、槓桿交易商業務及其他經主管機關核准之期貨相關業務。民國106年8月14日，已取得主管機關許可，取消期貨經理事業。截至民國111年9月30日，本公司已設有4家分公司做為營業據點。

(三)截至民國111年及110年9月30日止，本集團員工人數分別為457人及443人。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於民國111年11月4日經董事會通過發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下簡稱「金管會」)認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國111年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第3號之修正「對觀念架構之索引」	民國111年1月1日
國際會計準則第16號之修正「不動產、廠房及設備：達到預定使用狀態前之價款」	民國111年1月1日
國際會計準則第37號之修正「虧損性合約—履行合約之成本」	民國111年1月1日
2018—2020週期之年度改善	民國111年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 112 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際會計準則第1號之修正「會計政策之揭露」	民國112年1月1日
國際會計準則第8號之修正「會計估計之定義」	民國112年1月1日
國際會計準則第12號之修正「與單一交易所產生之資產及負債有關之遞延所得稅」	民國112年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第16號之修正「售後租回中之租賃負債」	民國113年1月1日
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國112年1月1日
國際財務報導準則第17號「保險合約」之修正	民國112年1月1日
國際財務報導準則第17號之修正「初次適用國際財務報導準則第17號及國際財務報導準則第9號—比較資訊」	民國112年1月1日
國際會計準則第1號之修正「負債之流動或非流動分類」	民國112年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

編製本合併財務報告所採用之主要會計政策說明如下。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依據期貨商財務報告編製準則、證券商財務報告編製準則與金管會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製。

(二)編製基礎

1.除下列重要項目外，本合併財務報告係按歷史成本編製：

(1)按公允價值衡量之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債(包括衍生工具)。

(2)按公允價值衡量之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產。

(3)按退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利負債。

2.編製符合金管會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱 IFRSs)之合併財務報告需要使用一些重要會計估計，在應用本集團的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請詳附註五說明。

(三)合併基礎

1.合併財務報告編製原則

(1)本集團將所有子公司納入合併財務報告編製之個體。子公司指受本集團控制之個體(包括結構型個體)，當本集團暴露於來自對該個體之參與之變動報酬或對該等變動報酬享有權利，且透過對該個體之權力有能力影響該等報酬時，本集團即控制該個體。子公司自本集團取得控制之日起納入合併財務報告，於喪失控制之日起終止合併。

(2)集團內公司間之交易、餘額及未實現損益業已銷除。子公司之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

2.列入合併財務報告之子公司：

投資公司	子公司		所持股權百分比			
名　稱	名　稱	業務性質	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日	說明
本公司	元大期貨(香港)有限公司	金融服務	100%	100%	100%	
本公司	勝元期資訊股份有限公司	資訊服務	100%	100%	100%	
勝元期資訊股份有限公司	勝元期信息科技(上海)有限公司	資訊服務	-	100%	100%	註

註：勝元期資訊股份有限公司於民國 111 年 6 月 30 日經董事會通過訂定勝元期信息科技(上海)有限公司之清算基準日為民國 111 年 6 月 30 日。

3.未列入合併財務報告之子公司：無。

4.子公司會計期間不同之調整及處理方式：無。

5.重大限制：無。

6.對本集團具重大性之非控制權益之子公司：無。

(四)外幣換算

本集團內每一個體之財務報告所列之項目，均係以該個體營運所處主要經濟環境之貨幣(即功能性貨幣)衡量。本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣「新台幣」作為表達貨幣列報。

1.外幣交易及餘額

(1)外幣交易採用交易日或衡量日之即期匯率換算為功能性貨幣，換算此等交易產生之換算差額認列為當期損益。

(2)外幣貨幣性資產及負債餘額，按資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之換算差額認列為當期損益。

(3)外幣非貨幣性資產及負債餘額，屬透過損益按公允價值衡量者，按合併資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列為當期損益；屬透過其他綜合損益按公允價值衡量者，按合併資產負債表日之即期匯率評價調整，因調整而產生之兌換差額認列於其他綜合損益項目；屬非按公允價值衡量者，則按初始交易日之歷史匯率衡量。

(4)所有兌換損益於合併綜合損益表之其他利益及損失列報。

2.國外營運機構之換算

功能性貨幣與表達貨幣不同之所有子公司及關聯企業，其經營結果和財務狀況以下列方式換算為表達貨幣：

(1)表達於每一資產負債表之資產及負債係以該合併資產負債表日之收盤匯率換算；

(2)表達於每一合併綜合損益表之收益及費損係以當期平均匯率換算；及

(3)所有因換算而產生之兌換差額認列為其他綜合損益。

(五)資產負債區分流動及非流動之分類標準

1.資產符合下列條件之一者，分類為流動資產：

(1)預期將於正常營業週期中實現該資產，或意圖將其出售或消耗者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內實現者。

(4)現金或約當現金，但於資產負債表日後至少十二個月交換或用以清償負債受到限制者除外。

本集團將所有不符合上述條件之資產分類為非流動。

2. 負債符合下列條件之一者，分類為流動負債：

(1)預期將於正常營業週期中清償者。

(2)主要為交易目的而持有者。

(3)預期於資產負債表日後十二個月內到期清償者。

(4)不能無條件將清償期限遞延至合併資產負債表日後至少十二個月者。負債之條款，可能依交易對方之選擇，以發行權益工具而導致清償者，不影響其分類。

本集團將所有不符合上述條件之負債分類為非流動。

(六)現金及約當現金

合併資產負債表中「現金及約當現金」項目包含零用金、支票存款、活期存款及可隨時轉換成定額現金且價值變動之風險甚小之短期並具高度流動性之投資。

(七)透過損益按公允價值衡量之金融資產

1. 係指非屬按攤銷後成本衡量或透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產。屬按攤銷後成本衡量或透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，當可消除或重大減少衡量或認列不一致時，本集團於原始認列時指定為透過損益按公允價值衡量之金融資產。

2. 本集團對於符合慣例交易之透過損益按公允價值衡量之金融資產係採用交易日會計。

3. 本集團於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本認列於損益，後續按公允價值衡量，其利益或損失認列於損益。

4. 當收取股利之權利確立，與股利有關之經濟效益很有可能流入，及股利金額能可靠衡量時，本集團於損益認列股利收入。

(八)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

1. 係指原始認列時作一不可撤銷之選擇，將非持有供交易之權益工具投資的公允價值變動列報於其他綜合損益。

2. 本集團對於符合交易慣例之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產係採用交易日會計。

3. 本集團於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，後續按公允價值衡量：

屬權益工具之公允價值變動認列於其他綜合損益，於除列時，先前認列於其他綜合損益之累積利益或損失後續不得重分類至損益，轉列至保留盈餘項下。當收取股利之權利確立，與股利有關之經濟效益很有可能流入，及

股利金額能可靠衡量時，本集團於損益認列股利收入。

(九)客戶保證金專戶

客戶保證金專戶係依期貨商管理規則規定向期貨交易人收取之保證金及權利金，及依每日市價結算之差額等，均列為客戶保證金專戶。

(十)期貨交易人權益/應收期貨交易保證金

期貨交易人權益係客戶所繳存之期貨交易保證金及權利金，及依每日市價結算之差額等，並帳列流動負債項下。除同一客戶之相同種類帳戶外，不得互抵銷；如期貨交易人權益發生借方餘額時，則以應收期貨交易保證金列帳，並向交易人追償之。

(十一)槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶

槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶係依槓桿交易商管理規則規定向槓桿交易人收取之保證金及權利金，及依每日評價之差額等，均列為槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶。

(十二)槓桿保證金契約交易交易人權益

槓桿保證金契約交易交易人權益係客戶所繳存之槓桿交易保證金及權利金，及依每日評價之差額等，並帳列流動負債項下。

(十三)應收帳款

1. 係指依合約約定，已具無條件收取因提供勞務所換得對價金額權利之帳款。
2. 屬未付息之短期應收帳款，因折現之影響不大，本集團係以原始發票金額衡量。

(十四)金融資產減損

本集團於每一資產負債表日，就按攤銷後成本衡量之金融資產、客戶保證金專戶、應收期貨交易保證金、借券保證金、應收帳款、其他應收款、槓桿保證金、營業保證金、交割結算基金及存出保證金等，考量所有合理且可佐證之資訊(包括前瞻性者)後，對自原始認列後信用風險並未顯著增加者，按 12 個月預期信用損失金額衡量備抵損失；對自原始認列後信用風險已顯著增加者，按存續期間預期信用損失金額衡量備抵損失。

(十五)金融資產之除列

當本集團收取來自金融資產現金流量之合約權利失效時，將除列金融資產。

(十六)不動產及設備

1. 不動產及設備係以取得成本為入帳基礎，並將購建期間之有關利息資本化。

2. 後續成本只有在與該項目有關之未來經濟效益很有可能流入本集團，且該項目之成本能可靠衡量時，才包括在資產之帳面金額或認列為一項單獨資產。被重置部分之帳面金額應除列。所有其他維修費用於發生時認列為當期損益。

3. 不動產及設備之後續衡量採成本模式，除土地不提折舊外，其他按估計耐用年限以直線法計提折舊。不動產及設備各項組成若屬重大，則單獨提列折舊。

4. 本集團於每一財務年度結束日對各項資產之殘值、耐用年限及折舊方法進行檢視，若殘值及耐用年限之預期值與先前之估計不同時，或資產所含之未來經濟效益之預期消耗型態已有重大變動，則自變動發生日起依國際會計準則第 8 號「會計政策、會計估計變動及錯誤」之會計估計變動規定處理。資產之耐用年數除建築物為 10~60 年外，餘 3~6 年。

(十七)承租人之租賃交易－使用權資產/租賃負債

1. 租賃資產於可供本集團使用之日認列為使用權資產及租賃負債。當租賃合約係屬短期租賃或低價值標的資產之租賃時，將租賃給付採直線法於租賃期間認列為費用。

2. 租賃負債於租賃開始日將尚未支付之租賃給付按本集團增額借款利率折現後之現值認列，租賃給付包括：

   (1)固定給付，減除可收取之任何租賃誘因；

   (2)租賃終止所須支付之罰款，若租賃期間反映承租人將行使租賃終止之選擇權。

   後續採利息法按攤銷後成本法衡量，於租賃期間提列利息費用。當非屬合約修改造成租賃期間或租賃給付變動時，將重評估租賃負債，並將再衡量數調整使用權資產。

3. 使用權資產於租賃開始日按成本認列，成本包括：

   (1)租賃負債之原始衡量金額；

   (2)於開始日或之前支付之任何租賃給付；及

   (3)發生之任何原始直接成本

   後續採成本模式衡量，於使用權資產之耐用年限屆滿時或租賃期間屆滿時兩者之較早者，提列折舊費用。當租賃負債重評估時，使用權資產將調整租賃負債之任何再衡量數。

4. 對減少租賃範圍之租賃修改，承租人將減少使用權資產之帳面金額以反映租賃部分或全面之終止，並將其與租賃負債再衡量金額間之差額認列於損益中。

(十八)無形資產

1. 國外期貨交易所席位

國外期貨交易所席位以取得成本認列，經評估將在可預見的未來持續產生淨現金流入，故視為非確定耐用年限，不予以攤銷，並每年定期進行減損測試。

2. 電腦軟體

電腦軟體以取得成本認列，依直線法按估計耐用年限 3 年攤銷。

(十九)非金融資產減損

1. 本集團於資產負債表日針對有減損跡象之資產，估計其可回收金額，當可回收金額低於其帳面價值時，則認列減損損失。可回收金額係指一項資產之公允價值減處分成本或其使用價值，兩者較高者。當以前年度已認列資產減損之情況不存在或減少時，則迴轉減損損失，惟迴轉減損損失而增加之資產帳面金額，不超過該資產若未認列減損損失情況下減除折舊或攤銷後之帳面金額。

2. 非確定耐用年限無形資產定期估計其可回收金額。當可回收金額低於其帳面價值時，則認列減損損失。

(二十)非避險之衍生工具

非避險之衍生工具於原始認列時按簽訂合約當日之公允價值衡量，帳列透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債，後續按公允價值衡量，其利益或損失認列於損益。

(二十一)透過損益按公允價值衡量之金融負債

1. 係指發生之主要目的為近期內出售或再買回，及除依避險會計被指定為避險工具外之衍生工具而持有供交易之金融負債。或原始認列時被指定為透過損益按公允價值衡量之金融負債。本集團於金融負債符合下列條件之一時，於原始認列時將其指定為透過損益按公允價值衡量：

(1)係混合(結合)合約；或

(2)可消除或重大減少衡量或認列不一致；或

(3)係依書面之風險管理政策，以公允價值基礎管理並評估其績效之工具。

2.本集團於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本認列於損益，後續按公允價值衡量，其利益或損失認列於損益。

(二十二)應付公司債

本集團發行之應付公司債，於原始認列時按公允價值扣除交易成本後之金額衡量，與贖回價值之差額認列為應付公司債溢折價，列為應付公司債之加項或減項；後續採有效利息法於債券流通期間內加以攤銷，作為「財務成本」之調整項目。

(二十三)金融負債之除列

本集團於合約所載之義務履行、取消或到期時，除列金融負債。

(二十四)員工福利

1.短期員工福利

短期員工福利係以預期支付之非折現金額衡量，並於相關服務提供時認列為費用。

2.退休金

(1)確定提撥計畫

對於確定提撥計畫，係於支付固定提撥金額至一獨立且公開或私人管理之退休基金帳戶後，即無支付額外金額之法定或推定義務，並依權責發生基礎將應提撥之退休基金數額認列為當期之退休金成本。預付提撥金於可退還現金或減少未來給付之範圍內認列為資產。

(2)確定福利計畫

A.確定福利計畫下之淨義務係以員工當期或過去服務所賺得之未來福利金額折現計算，並以資產負債表日之確定福利義務現值減除計畫資產之公允價值。確定福利淨義務每年由精算師採用預計單位福利法計算，折現率係使用資產負債表日與確定福利計畫之貨幣及期間一致之政府公債(於資產負債表日)之市場殖利率。

B.確定福利計畫產生再衡量數於發生當期認列於其他綜合損益，並表達於保留盈餘。

C.期中期間之退休金成本係採用前一年財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算。若該結束日後有重大市場變動及重大縮減、清償或其他重大一次性事項，則加以調整，並配合前述政策揭露相關資訊。

3.離職福利

離職福利係於正常退休日前終止對員工之聘僱或當員工決定接受公司之福利邀約以換取聘僱之終止而提供之福利。本集團係於不再能撤銷離職福利之要約或於認列相關重組成本之孰早者時認列費用。不預期在資產負債表日後 12 個月全部清償之福利應予以折現。

4.員工酬勞及董監酬勞

員工酬勞及董監事酬勞係於具法律或推定義務且金額可合理估計時，認列為費用及負債。嗣後決議實際配發金額與估列金額有差異時，則按會計估計變動處理。

(二十五)所得稅

1.所得稅費用包含當期及遞延所得稅。除與列入其他綜合損益或直接列入權益之項目有關之所得稅分別列入其他綜合損益或直接列入權益外，所得稅係認列於損益。

2.本集團依據營運及產生應課稅所得之所在國家在資產負債表日已立法或已實質性立法之稅率計算當期所得稅。管理階層就適用所得稅相關法規定期評估所得稅申報之狀況，並在適用情況下根據預期須向稅捐機關支付之稅款估列所得稅負債。未分配盈餘依所得稅法加徵所得稅，嗣盈餘產生年度之次年度於股東會通過盈餘分派案後，始就實際盈餘之分派情形，認列未分配盈餘所得稅費用。

3.遞延所得稅採用資產負債表法，按資產及負債之課稅基礎與其於合併資產負債表之帳面金額所產生之暫時性差異認列。若遞延所得稅源自於交易(不包括企業合併)中對資產或負債之原始認列，且在交易當時未影響會計利潤或課稅所得(課稅損失)，則不予認列。若投資子公司產生之暫時性差異，本集團可以控制暫時性差異迴轉之時點，且暫時性差異很有可能於可預見之未來不會迴轉者則不予認列。遞延所得稅採用在合併資產負債表日已立法或已實質性立法，並於有關之遞延所得稅資產實現或遞延所得稅負債清償時預期適用之稅率(及稅法)為準。

4.遞延所得稅資產於暫時性差異很有可能用以抵減未來應課稅所得之範圍內認列，並於每一合併資產負債表日重新評估未認列及已認列之遞延所得稅資產。

5.當有法定執行權將所認列之本期所得稅資產及負債金額互抵且有意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將本期所得稅資產及本期所得稅負債互抵；當有法定執行權將本期所得稅資產及本期所得稅負債互抵，且遞延所得稅資產及負債由同一稅捐機關課徵所得

稅之同一納稅主體、或不同納稅主體產生但各主體意圖以淨額基礎清償或同時實現資產及清償負債時，始將遞延所得稅資產及負債互抵。

6. 期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合前述政策揭露相關資訊。

7. 期中期間發生稅率變動時，本集團於變動發生當期一次認列變動影響數，對於所得稅與認列於損益之外的項目有關者，將變動影響數認列於其他綜合損益或權益項目，對於所得稅與認列於損益的項目有關者，則將變動影響數認列於損益。

(二十六)股利分配

分配予本公司股東之股利於本公司股東會決議分派股利時於財務報告認列，分派現金股利認列為負債。

(二十七)收入認列

1. 經紀手續費收入：凡期貨商受託從事期貨交易所取得之手續費收入，於買賣期貨成交日認列。

2. 證券佣金收入：凡期貨商經營證券交易輔助業務所取得之佣金收入，乃根據相關協議之條款按權責基礎予以估列。

3. 受託結算交割服務費收入：具結算會員資格之期貨商受託辦理結算交割業務所取得之服務費收入，於買賣期貨成交日認列。

4. 衍生工具淨利益：

(1)期貨契約損益：期貨買賣之交易保證金以成本入帳，每日並按市價法評價及經由反向買賣或到期交割所產生之期貨契約損益列於當期損益；

(2)選擇權交易：選擇權買賣之交易保證金以成本入帳，履約前每月按市價法評價及因履約所產生之選擇權交易損益列於當期損益。

5. 期貨管理費收入及顧問費收入：乃根據相關協議之條款按權責基礎予以估列。

6. 利息收入：所有計息之金融工具產生之利息收入係以有效利率法計算。

(二十八)營運部門

本集團營運部門資訊與提供給主要營運決策者之內部管理報告採一致之方式報導。主要營運決策者負責分配資源予營運部門並評估其績效，經辨識本集團之主要營運決策者為董事會。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本集團編製本合併財務報告時，管理階層已運用其判斷以決定所採用之會計政策，並依據合併資產負債表日當時之情況，以對於未來事件之合理預期作出會計估計及假設。所作出之重大會計估計與該等估計及假設具有導致資產及負債帳面金額於下個財務年度重大調整之風險。假設可能與實際結果存有差異，將考量歷史經驗、新型冠狀病毒肺炎影響及其他因子持續評估及調整。本期無重大變動。茲將具有導致下個財務年度重大調整風險之估計及判斷說明如下：

(一)應收期貨交易保證金之預期信用損失評估

本集團應收期貨交易保證金之減損評估，依賴本集團之主觀判斷，包含該應收款於原始認列後信用風險是否顯著增加、過去歷史經驗計算之損失率等，故本集團定期檢視其估計之合理性。請參閱附註二十一(六)之說明。

(二)金融資產－無活絡市場之未上市(櫃)公司股票公允價值衡量

本集團持有之無活絡市場之未上市(櫃)公司股票，其公允價值衡量主要係採用市場法衡量其公允價值，該評價方法之主要假設為決定類似可比較公司，並取得其最近期之本益比作為計算參考依據，以及考量市場流通性所作折價。任何判斷及估計之變動，均可能會影響其公允價值之衡量。有關金融工具公允價值之說明，請詳附註二十一(三)。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
零用金	$ 111	$ 101	$ 102
銀行存款			
支票存款	-	17	16
活期存款	460,789	577,011	663,372
定期存款	8,538,765	7,926,095	6,501,753
小計	8,999,665	8,503,224	7,165,243
期貨超額保證金	393,275	366,876	370,071
外匯保證金交易之超額保證金	97,029	74,275	87,734
三個月內到期之商業本票	-	359,711	224,831
	$ 9,489,969	$ 9,304,086	$ 7,847,879

1. 本集團往來之金融機構信用品質良好，且本集團與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。

2. 本集團未有將現金及約當現金提供質押之情形。

(二)透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債-流動

透過損益按公允價值衡量之金融資產：

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產			
上市櫃公司股票	$ 211,891	$ 224,771	$ 98,792
受益憑證	512	-	-
期貨契約-非避險	5,270	16,992	23,365
選擇權契約-非避險	55,723	1,219	5,311
槓桿契約-非避險	25,835	36,525	21,827
	299,231	279,507	149,295
評價調整	(16,368)	7,022	(1,724)
	$ 282,863	$ 286,529	$ 147,571

透過損益按公允價值衡量之金融負債：

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
持有供交易之金融負債			
賣出選擇權負債-非避險	$ 30,040	$ 926	$ 6,451
應付借券-非避險	988	-	-
	31,028	926	6,451
評價調整	(78)	-	-
	$ 30,950	$ 926	$ 6,451

1.透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債認列於損益之明細如下：

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債		
上市櫃公司股票	$ 11,626	$ 1,038
受益憑證	(62)	(1,454)
借券及融券	3	(12)
期貨契約-非避險	(33,733)	18,006
選擇權契約-非避險	29,748	1,435
槓桿衍生工具	24,137	8,079
合計	$ 31,719	$ 27,092

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
透過損益按公允價值衡量之		
金融資產及負債		
上市櫃公司股票	($ 53,158)	$ 105,628
受益憑證	(2,727)	24
借券及融券	3	(13,298)
期貨契約-非避險	21,144	(11,707)
選擇權契約-非避險	32,626	3,222
槓桿衍生工具	59,825	21,148
其他金融工具	-	14
合計	$ 57,713	$ 105,031

本集團民國111年及110年7月1日至9月30日暨111年及110年1月1日至9月30日上述透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債損益，帳列包括營業證券出售淨(損失)利益、股利收入、營業證券透過損益按公允價值衡量之淨利益(損失)、借券及附賣回債券融券回補淨損失、借券及附賣回債券融券透過損益按公允價值衡量之淨利益、衍生工具淨利益及其他利益及損失。

2.期貨交易

本集團簽訂之期貨契約，係為獲取價差。民國111年9月30日、110年12月31日及110年9月30日期貨帳戶中留存之保證金餘額分別計$398,545、$383,868及$393,436，其中超額保證金餘額分別為$393,275、$366,876及$370,071帳列於「現金及約當現金」。

3.本集團未有將透過損益按公允價值衡量之金融資產提供質押之情形。

(三)客戶保證金專戶/期貨交易人權益

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
客戶保證金專戶：			
銀行存款	$ 71,762,425	$ 61,267,304	$ 64,255,807
結算機構結算餘額	11,162,349	14,607,984	15,864,478
其他期貨商結算餘額	10,078,362	7,601,695	8,939,568
客戶保證金專戶帳列餘額	93,003,136	83,476,983	89,059,853
減：手續費及利息收入等待轉出	(219,606)	(155,154)	(158,735)
期交稅待轉出	(10,186)	(4,595)	(10,995)
暫收款	(6,593)	(6,239)	(4,911)
其他	(50,383)	(132,659)	(96,828)
期貨交易人權益	$ 92,716,368	$ 83,178,336	$ 88,788,384

1.本集團之客戶保證金專戶無預期信用損失之情形。

2.在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下,最能代表客戶保證金專戶於民國111年9月30日、110年12月31日及110年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$93,003,136、$83,476,983及$89,059,853。

(四)應收期貨交易保證金

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
應收期貨交易保證金	$ 105,743	$ 107,770	$ 117,594
減:備抵損失	(105,743)	(107,770)	(117,594)
合計	$ -	$ -	$ -

1.應收期貨交易保證金相關信用風險資訊請詳附註二十一(六)。

2.應收期貨交易保證金之帳齡分析如下:

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
30天內	$ -	$ -	$ -
31-90天	-	-	-
91-180天	-	-	-
181天以上	105,743	107,770	117,594
	$ 105,743	$ 107,770	$ 117,594

以上係以立帳日為基準進行之帳齡分析。

(五)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
流動項目:			
權益工具			
上市櫃公司股票	$ 822,634	$ 700,524	$ 709,392
評價調整	(168,157)	106,306	(11,000)
合計	$ 654,477	$ 806,830	$ 698,392
非流動項目:			
權益工具			
上市櫃公司股票	$ 104,771	$ 104,771	$ 104,771
評價調整	7,706	21,704	2,941
小計	112,477	126,475	107,712
未上市櫃公司股票	221,132	221,132	221,132
評價調整	1,848,053	1,585,126	1,536,841
小計	2,069,185	1,806,258	1,757,973
合計	$ 2,181,662	$ 1,932,733	$ 1,865,685

1. 本集團選擇將屬策略性投資及為穩定收取股利投資分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，該等投資於民國 111 年 9 月 30 日、110 年 12 月 31 日及 110 年 9 月 30 日公允價值分別為$2,836,139、$2,739,563 及$2,564,077。

2. 本集團於民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日因市場的干擾與不確定因素增加，為避免系統性風險，調整股票投資組合，出售公允價值分別為$107,360、$487,082、$381,687 及$1,137,214 之上市櫃公司股票，累積處分(損失)利益為($52,019)、($28,850)、($39,553)及$99,373。

3. 透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產認列於損益及其他綜合損益之明細如下：

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具		
認列於其他綜合損益之公允價值變動	$ 97,730	$ 88,712
累積損失因除列轉列保留盈餘	$ 52,019	$ 28,850
認列於損益之股利收入		
於本期期末仍持有者	$ 56,645	$ 93,197
於本期內除列者	7,950	28,841
	$ 64,595	$ 122,038

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具		
認列於其他綜合損益之公允價值變動	($ 65,087)	$ 285,727
累積損失或(利益)因除列轉列保留盈餘	$ 39,553	($ 99,373)
認列於損益之股利收入		
於本期期末仍持有者	$ 146,619	$ 113,579
於本期內除列者	7,950	38,133
	$ 154,569	$ 151,712

4. 本集團未有將透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產提供作為質押擔保之情形。

(六)營業保證金

本公司民國111年9月30日、110年12月31日及110年9月30日營業保證金均係以一年內到期之定期存款提存於元大銀行，年利率分別為0.77%~1.155%、0.77%及0.77%。

在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本集團持有營業保證金，於民國111年9月30日、110年12月31日及110年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$146,066、$145,326及$145,368。

(七)交割結算基金

在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本集團持有交割結算基金，於民國111年9月30日、110年12月31日及110年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$459,865、$544,465及$549,141。

(八)不動產及設備

	111年				
	土地(註)	建築物	設備	租賃權益改良	合計
1月1日					
成本	$ 466,947	$ -	$ 261,589	$ 36,087	$ 764,623
累計折舊	-	-	(118,542)	(15,133)	(133,675)
	$ 466,947	$ -	$ 143,047	$ 20,954	$ 630,948
1月1日	$ 466,947	$ -	$ 143,047	$ 20,954	$ 630,948
增添	-	-	32,196	5,041	37,237
本期移轉	-	-	-	65,146	65,146
處分(成本)	-	-	(9,882)	-	(9,882)
處分(累計折舊)	-	-	9,882	-	9,882
折舊費用	-	-	(47,449)	(24,272)	(71,721)
匯兌差額	-	-	215	389	604
9月30日	$ 466,947	$ -	$ 128,009	$ 67,258	$ 662,214
9月30日					
成本	$ 466,947	$ -	$ 285,874	$ 108,773	$ 861,594
累計折舊	-	-	(157,865)	(41,515)	(199,380)
	$ 466,947	$ -	$ 128,009	$ 67,258	$ 662,214

註：因都市更新將土地信託予彰化商業銀行。

	110年				
	土地	建築物	設備	租賃權益改良	合計
1月1日					
成本	$ 410,992	$ 71,577	$ 256,505	$ 28,155	$ 767,229
累計折舊	-	(12,213)	(117,790)	(18,694)	(148,697)
	$ 410,992	$ 59,364	$ 138,715	$ 9,461	$ 618,532
1月1日	$ 410,992	$ 59,364	$ 138,715	$ 9,461	$ 618,532
增添	-	-	25,110	1,836	26,946
本期移轉	-	-	1,500	3,023	4,523
處分(成本)	-	-	(55,294)	(1,092)	(56,386)
處分(累計折舊)	-	-	55,294	1,016	56,310
折舊費用	-	(2,556)	(45,874)	(4,802)	(53,232)
匯兌差額	-	-	(91)	(168)	(259)
9月30日	$ 410,992	$ 56,808	$ 119,360	$ 9,274	$ 596,434
9月30日					
成本	$ 410,992	$ 71,577	$ 227,405	$ 31,424	$ 741,398
累計折舊	-	(14,769)	(108,045)	(22,150)	(144,964)
	$ 410,992	$ 56,808	$ 119,360	$ 9,274	$ 596,434

(九)租賃交易－承租人

1. 本集團租賃之標的資產包括建物等，租賃合約之期間通常介於 2 到 5 年。租賃合約是採個別協商並包含各種不同的條款及條件，除租賃之資產不得用作借貸擔保外，未有加諸其他之限制。

2. 使用權資產之帳面價值與認列之折舊費用資訊如下：

帳面金額	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
建築物	$ 121,271	$ 156,634	$ 166,297

折舊費用	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
建築物	$ 12,866	$ 12,715

折舊費用	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
建築物	$ 38,744	$ 48,169

3. 本集團於民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日使用權資產之增添分別為$1,574 及$6,038。

4.與租賃合約有關之損益項目資訊如下：

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
影響當期損益之項目		
租賃負債之利息費用	$ 238	$ 312
屬短期租賃合約之費用	23	22
租賃修改利益	-	12

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
影響當期損益之項目		
租賃負債之利息費用	$ 771	$ 1,181
屬短期租賃合約之費用	68	220
租賃修改利益	-	502

5.本集團於民國111年及110年1月1日至9月30日租賃現金流出總額分別為$42,082及$41,140。

6.租賃延長之選擇權及租賃終止之選擇權

本集團於決定租賃期間時，係將所有行使延長選擇權，或不行使終止選擇權會產生經濟誘因的事實和情況納入考量。當發生對行使延長選擇權或不行使終止選擇權之評估的重大事件發生時，則租賃期間將重新估計。

(十)無形資產

	111年		
	交易所席位	其他	合計
1月1日			
成本	$ 24,125	$ 89,397	$ 113,522
累計攤銷	-	(26,543)	(26,543)
	$ 24,125	$ 62,854	$ 86,979
1月1日	$ 24,125	$ 62,854	$ 86,979
增添	-	2,905	2,905
本期移轉	-	3,443	3,443
處分(成本)	-	(14,200)	(14,200)
處分(累計攤銷)	-	14,200	14,200
攤銷費用	-	(20,296)	(20,296)
9月30日	$ 24,125	$ 48,906	$ 73,031
9月30日			
成本	$ 24,125	$ 81,576	$ 105,701
累計攤銷	-	(32,670)	(32,670)
	$ 24,125	$ 48,906	$ 73,031

	110年		
	交易所席位	其他	合計
1月1日			
成本	$ 24,125	$ 45,707	$ 69,832
累計攤銷	-	(27,663)	(27,663)
	$ 24,125	$ 18,044	$ 42,169
1月1日	$ 24,125	$ 18,044	$ 42,169
增添	-	6,203	6,203
本期移轉	-	541	541
處分(成本)	-	(10,166)	(10,166)
處分(累計攤銷)	-	10,166	10,166
攤銷費用	-	(8,218)	(8,218)
匯兌差額	-	(1)	(1)
9月30日	$ 24,125	$ 16,569	$ 40,694
9月30日			
成本	$ 24,125	$ 42,278	$ 66,403
累計攤銷	-	(25,709)	(25,709)
	$ 24,125	$ 16,569	$ 40,694

(十一)其他流動負債

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
暫收款	$ 7,500	$ 31,175	$ 22,656

(十二)應付公司債

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
應付公司債	$ 1,500,000	$ 1,500,000	$ -
減：應付公司債折價	(2,316)	(2,599)	-
	$ 1,497,684	$ 1,497,401	$ -

	110年度第一次無擔保次順位普通公司債
發行面額	$1,500,000
票面利率	固定利率，0.85%
發行日	民國110年11月12日
到期日	民國117年11月12日
發行地區	台灣

(十三)退休金

1.確定福利計畫

(1)本公司依據「勞動基準法」之規定，訂有確定福利之退休辦法，適用於民國 94 年 7 月 1 日實施「勞工退休金條例」前所有正式員工之服務年資，以及於實施「勞工退休金條例」後選擇繼續適用勞動基準法員工之後續服務年資。員工符合退休條件者，退休金之支付係根據服務年資及退休前 6 個月之平均薪資計算，15 年以內(含)的服務年資每滿一年給予兩個基數，超過 15 年之服務年資每滿一年給予一個基數，惟累積最高以 45 個基數為限。另訂有特殊留任金辦法，適用於部分員工。本公司按月就薪資總額 2%提撥退休基金，以勞工退休準備金監督委員會之名義專戶儲存於台灣銀行。另本公司於每年年度終了前，估算前項勞工退休準備金專戶餘額，若該餘額不足給付次一年度內預估符合退休條件之勞工依前述計算之退休金數額，本公司將於次年度三月底前一次提撥其差額。

(2)民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本公司及國內子公司依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$99、$56、$298 及$166。

(3)本公司於民國 112 年度預計支付予退休計畫之提撥金為$737。

2.確定提撥計畫

(1)自民國 94 年 7 月 1 日起，本公司及國內子公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本公司及國內子公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按薪資之 6%提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。

(2)民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$4,973、$4,692、$14,077 及$13,850。

3.合併國外子公司退休辦法

(1)元大期貨(香港)及勝元期信息科技(上海)員工退休辦法係依當地政府相關法令辦理。

(2)民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日國外子孫公司依上述退休金辦法認列之退休金費用分別為$320、$339、$1,005 及$1,057。

(十四)股本

民國 111 年 9 月 30 日止，本公司額定資本額為$3,500,000，分為 350,000 仟股，實收資本額為$2,899,763，每股面額 10 元。本公司已發行股份之股款均已收訖。

(十五)資本公積

依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，按股東原有股份之比例發給新股或現金。另依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額百分之十為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。

(十六)特別盈餘公積

1. 依期貨商管理規則第 18 條規定，期貨商於每年稅後盈餘項下提列百分之二十為特別盈餘公積，至金額達實收資本額為止。特別盈餘公積除彌補公司虧損，或提列金額達實收資本總額二分之一時，得以其半數轉作股本外，不得動用。另依民國 111 年 1 月 21 日金管證期字第 1110380212 號函，特別盈餘公積提列基礎應納入當期稅後淨利以外項目計入當年度未分配盈餘之數額。
2. 首次採用 IFRSs 時，民國 101 年 7 月 10 日金管證期字第 1010032090 號函，將已提列但未沖銷之壞帳損失準備餘額轉列為特別盈餘公積，轉列後除填補公司虧損，或特別盈餘公積已達實收資本額二分之一時，得以其半數轉作股本外，不得動用。
3. 本集團另依其他法令規定就當年度資產負債表日之其他權益減項淨額提列特別盈餘公積，當期發生之帳列其他權益減項淨額，自當期稅後淨利加計當期稅後淨利以外項目計入當期未分配盈餘之數額提列相同數額之特別盈餘公積，如仍有不足時，自前期未分配盈餘提列。嗣後其他權益減項淨額有迴轉時，得就迴轉部分迴轉特別盈餘公積分派盈餘。

(十七)保留盈餘

1. 依本公司章程規定，年度總決算如有盈餘，除依法完納一切稅捐外，應先彌補以往年度虧損，次提列 10%為法定盈餘公積、20%特別盈餘公積及另依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積後，如尚有盈餘應依股東會決議保留或分派之。
2. 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額百分之二十五之部分為限。

3. 本公司分派盈餘時，依法令規定須就當年度資產負債表日之其他權益項目借方餘額提列特別盈餘公積始得分派，嗣後其他權益項目借方餘額迴轉時，迴轉金額得列入可供分派盈餘中。

4. 本公司民國 111 年 5 月 24 日經股東會決議通過民國 110 年度盈餘分派案及民國 110 年 7 月 5 日經股東會決議通過民國 109 年度盈餘分派案分別如下：

	110年度		109年度	
	金額	每股股利(元)	金額	每股股利(元)
法定盈餘公積	$ 96,480		$ 111,467	
特別盈餘公積	192,960		214,020	
現金股利	666,945	$ 2.30	811,934	$ 2.80

(十八)其他權益

	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	總計
111年1月1日	$ 1,713,136	($ 97,223)	$ 1,615,913
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產			
－本期評價調整	(65,087)	-	(65,087)
－本期評價調整轉出至保留盈餘	39,553	-	39,553
外幣換算差異數：			
－本期兌換差異	-	128,698	128,698
111年9月30日	$ 1,687,602	$ 31,475	$ 1,719,077

	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	總計
110年1月1日	$ 1,342,428	($ 64,985)	$ 1,277,443
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產			
－本期評價調整	285,727	-	285,727
－本期評價調整轉出至保留盈餘	(99,373)	-	(99,373)
外幣換算差異數：			
－本期兌換差異	-	(26,573)	(26,573)
110年9月30日	$ 1,528,782	($ 91,558)	$ 1,437,224

(十九)經紀手續費收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
受託買賣手續費收入	$ 947,727	$ 910,769

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
受託買賣手續費收入	$ 2,882,860	$ 2,864,523

(二十)營業證券出售淨(損失)利益

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
出售證券收入－自營	$ 828,046	$ 2,363,983
出售證券成本－自營	(885,438)	(2,341,552)
合計	($ 57,392)	$ 22,431

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
出售證券收入－自營	$ 2,481,308	$ 5,177,979
出售證券成本－自營	(2,593,097)	(5,073,041)
合計	($ 111,789)	$ 104,938

(二十一)受託結算交割服務費收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
受託結算交割服務費收入		
—非關係人	$ 8,924	$ 9,626
受託結算交割服務費收入		
—關係人	-	6,630
合計	$ 8,924	$ 16,256

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
受託結算交割服務費收入		
—非關係人	$ 28,357	$ 30,466
受託結算交割服務費收入		
—關係人	-	22,989
合計	$ 28,357	$ 53,455

(二十二)衍生工具淨利益

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
非避險		
期貨契約損益		
期貨契約利益	$ 37,126	$ 92,218
期貨契約損失	(70,859)	(74,212)
	($ 33,733)	$ 18,006
選擇權交易損益		
選擇權交易利益	$ 48,684	$ 16,137
選擇權交易損失	(18,936)	(14,702)
	$ 29,748	$ 1,435
槓桿衍生工具交易損益		
槓桿衍生工具利益	$ 144,490	$ 46,315
槓桿衍生工具損失	(120,353)	(38,236)
	$ 24,137	$ 8,079
衍生工具合計利益	$ 230,300	$ 154,670
衍生工具合計損失	(210,148)	(127,150)
	$ 20,152	$ 27,520

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
非避險		
期貨契約損益		
期貨契約利益	$ 162,338	$ 354,466
期貨契約損失	(141,194)	(366,173)
	$ 21,144	($ 11,707)
選擇權交易損益		
選擇權交易利益	$ 90,675	$ 462,284
選擇權交易損失	(58,049)	(459,062)
	$ 32,626	$ 3,222
槓桿衍生工具交易損益		
槓桿衍生工具利益	$ 470,415	$ 114,647
槓桿衍生工具損失	(410,590)	(93,499)
	$ 59,825	$ 21,148
衍生工具合計利益	$ 723,428	$ 931,397
衍生工具合計損失	(609,833)	(918,734)
	$ 113,595	$ 12,663

(二十三)經手費支出

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
經紀經手費支出	$ 194,933	$ 196,598
自營經手費支出	167	1,173
合計	$ 195,100	$ 197,771

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
經紀經手費支出	$ 599,838	$ 605,778
自營經手費支出	355	2,749
合計	$ 600,193	$ 608,527

(二十四)期貨佣金支出

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
複委託期貨交易	$ 96,997	$ 83,853
期貨交易輔助業務	84,375	88,376
合計	$ 181,372	$ 172,229

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
複委託期貨交易	$ 295,216	$ 269,226
期貨交易輔助業務	260,023	287,449
合計	$ 555,239	$ 556,675

(二十五)結算交割服務費支出

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
結算交割服務費支出－經紀	$ 139,792	$ 144,896
結算交割服務費支出－自營	101	700
合計	$ 139,893	$ 145,596

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
結算交割服務費支出－經紀	$ 426,542	$ 447,555
結算交割服務費支出－自營	161	1,669
合計	$ 426,703	$ 449,224

(二十六)員工福利費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
薪資費用	$ 237,268	$ 157,358
勞健保費用	10,253	10,089
退休金費用	5,392	5,087
離職福利	689	3,961
其他員工福利費用	5,057	4,691
合計	$ 258,659	$ 181,186

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
薪資費用	$ 563,965	$ 483,551
勞健保費用	30,255	29,963
退休金費用	15,380	15,073
離職福利	3,597	11,945
其他員工福利費用	15,630	15,469
合計	$ 628,827	$ 556,001

1. 依本公司章程規定，本公司依當年度獲利狀況扣除累積虧損後，如尚有盈餘，應提撥員工酬勞 0.01%~5.00%。本公司民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日員工酬勞估列金額分別為$990、$900、$2,970 及$2,700，前述金額帳列薪資費用科目。
2. 經董事會決議之民國 110 年度員工酬勞與民國 110 年度財務報告認列之金額一致。
3. 本公司董事會通過之員工酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

(二十七)折舊及攤銷費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
折舊費用	$ 37,451	$ 29,658
攤銷費用	6,716	2,652
合計	$ 44,167	$ 32,310

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
折舊費用	$ 110,465	$ 101,401
攤銷費用	20,296	8,218
合計	$ 130,761	$ 109,619

(二十八)其他營業費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
郵電費	$ 30,717	$ 26,179
稅捐	25,553	30,244
電腦資訊費用	29,256	28,688
自由捐贈	300	20
團體會費	5,728	1,373
營業租賃租金	23	22
修繕費用	7,175	6,365
廣告費用	3,478	1,711
勞務費用	5,929	5,876
其他費用	13,485	12,636
合計	$ 121,644	$ 113,114

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
郵電費	$ 88,670	$ 75,342
稅捐	78,585	92,199
電腦資訊費用	86,133	82,814
自由捐贈	4,099	10,475
團體會費	32,493	30,900
營業租賃租金	68	220
修繕費用	21,328	18,794
廣告費用	12,051	5,958
勞務費用	14,208	14,050
其他費用	38,167	33,846
合計	$ 375,802	$ 364,598

（二十九）其他利益及損失

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
利息收入	$ 303,860	$ 81,550
處分投資損失	-	(2,150)
處分不動產及設備損失	-	(76)
股利收入	64,595	122,035
淨外幣兌換利益	52,506	1,450
透過損益按公允價值衡量之金融資產利益	-	1,844
租賃修改利益	-	12
其他	15,147	16,848
合計	$ 436,108	$ 221,513

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
利息收入	$ 511,918	$ 276,196
處分投資(損失)利益	(9,129)	5,109
處分不動產及設備損失	-	(76)
股利收入	154,569	152,361
淨外幣兌換利益(損失)	78,789	(4,688)
透過損益按公允價值衡量之金融資產損失	-	(996)
租賃修改利益	-	502
其他	57,218	62,724
合計	$ 793,365	$ 491,132

(三十)所得稅

1.所得稅費用

所得稅費用組成部分：

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 69,298	$ 46,920
以前年度所得稅高估數	-	(1)
當期所得稅總額	69,298	46,919
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	12,174	701
遞延所得稅總額	12,174	701
所得稅費用	$ 81,472	$ 47,620

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 161,998	$ 142,384
未分配盈餘加徵	421	-
以前年度所得稅(高)低估數	(1,398)	742
當期所得稅總額	161,021	143,126
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	29,768	9,527
遞延所得稅總額	29,768	9,527
所得稅費用	$ 190,789	$ 152,653

2.本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國 108 年度。

子公司勝元期資訊股份有限公司營利事業所得稅結算申報業經稅捐稽徵機關核定至民國 109 年度。

(三十一)每股盈餘

	111年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 370,334	289,976	$ 1.28

	110年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 293,890	289,976	$ 1.02

	111年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 822,408	289,976	$ 2.84

	110年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 732,763	289,976	$ 2.53

七、關係人交易

(一)母公司與最終控制者

本公司之最終母公司及最終控制者為元大金融控股股份有限公司，其擁有本公司 66.27%股份。

(二)關係人之名稱及關係

關係人名稱	與本集團之關係
元大金融控股(股)公司	本公司之母公司
元大銀行(股)公司	同一集團企業
元大證券(股)公司	同一集團企業
元大人壽保險(股)公司	同一集團企業
元大證券投資信託(股)公司	同一集團企業
元大證券投資顧問(股)公司	同一集團企業
元大證券株式會社	同一集團企業
元大證券(香港)有限公司	同一集團企業
元大證券(越南)有限公司	同一集團企業
勝元期信息科技(上海)有限公司	同一集團企業(註)
元大投信經理之基金	同一集團企業所經理之基金
財團法人元大文教基金會	實質關係人

關係人名稱	與本集團之關係
財團法人元大寶華綜合經濟研究院	實質關係人
其他	係同一集團企業、母公司、實質關係人暨其大股東、主要管理階層及其親屬之投資企業及其他公司或機構與本公司之董事長或總經理為同一人，或具有配偶或二等親以內關係。

註：勝元期資訊股份有限公司於民國 111 年 6 月 30 日經董事會通過訂定勝元期信息科技(上海)有限公司之清算基準日為民國 111 年 6 月 30 日。

(三)與關係人間之重大交易事項

1.現金及約當現金/營業保證金/客戶保證金

	111 年 9 月 30 日			
	銀行存款餘額	營業保證金	客戶保證金	超額保證金
兄弟公司				
元大銀行(股)公司	$ 6,387,546	$ 140,000	$ 23,176,731	$ -
元大證券株式會社	-	-	3,501	74
元大證券(越南)有限公司	-	-	332,622	-
	$ 6,387,546	$ 140,000	$ 23,512,854	$ 74

	110 年 12 月 31 日			
	銀行存款餘額	營業保證金	客戶保證金	超額保證金
兄弟公司				
元大銀行(股)公司	$ 3,344,174	$ 140,000	$ 16,371,626	$ -

	110 年 9 月 30 日			
	銀行存款餘額	營業保證金	客戶保證金	超額保證金
兄弟公司				
元大銀行(股)公司	$ 1,131,729	$ 140,000	$ 15,373,097	$ -

2.槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	$ 202,481	$ 200,734	$ 222,482

3.應收帳款—關係人

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大證券(股)公司	$ 1,147	$ 2,002	$ 3,339

4.預付款項

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大人壽保險(股)公司	$ -	$ 1,449	$ -

5.其他應收款—關係人

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	$ 13,403	$ 4,196	$ 3,688
元大證券(香港)有限公司	113	70	40
元大證券株式會社	1	-	75
	$ 13,517	$ 4,266	$ 3,803

6.其他應收款—應收投資退還款

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
其他關係人			
勝元期信息科技(上海)有限公司	$ 118,159	$ -	$ -

7.租賃交易—承租人

(1)本集團向元大銀行、元大證券及元大人壽承租建物，租賃合約之期間為2.5個月至5年，租金係於每月支付。

(2)取得使用權資產

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ -	$ 1,949
元大證券(股)公司	-	4,089
	$ -	$ 6,038

(3)租金費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ -	$ -
元大證券(股)公司	-	-
	$ -	$ -

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ -	$ 16
元大證券(股)公司	-	39
	$ -	$ 55

(4)租賃負債

A.期末餘額

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	$ 5,261	$ 7,051	$ 4,527
元大人壽保險(股)公司	123,487	153,175	163,041
	$ 128,748	$ 160,226	$ 167,568

B.利息費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 9	$ 7
元大證券(股)公司	-	-
元大人壽保險(股)公司	198	258
	$ 207	$ 265

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 28	$ 16
元大證券(股)公司	-	8
元大人壽保險(股)公司	640	839
	$ 668	$ 863

8.存出保證金

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	$ 10,304	$ 10,304	$ 10,304
元大人壽保險(股)公司	6,740	6,740	6,740
	$ 17,044	$ 17,044	$ 17,044

9.期貨交易人權益

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	$ 104,385	$ 84,459	$ 27,941
元大證券(股)公司	3,774,699	4,904,272	8,161,457
元大證券(香港)有限公司	108,103	132,727	126,160
元大證券株式會社	243,928	210,502	193,609
兄弟公司經理之基金			
元大投信經理之基金	31,675,053	29,244,360	30,130,827
其他關係人	123,463	88,823	74,839
	$ 36,029,631	$ 34,665,143	$ 38,714,833

10. 應付帳款—關係人

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
兄弟公司			
元大證券(股)公司	$ 23,950	$ 19,749	$ 20,805

11. 其他應付款—關係人

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
母公司			
元大金融控股(股)公司	$ 98	$ 724	$ 474
兄弟公司			
元大銀行(股)公司	35	-	-
元大證券(股)公司	-	51	81
元大人壽保險(股)公司	1,032	1,040	1,024
其他關係人	6	27	40
	$ 1,171	$ 1,842	$ 1,619

12. 經紀手續費收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 447	$ 97
元大證券(股)公司	23,317	22,697
元大證券(香港)有限公司	5,480	2,452
元大證券株式會社	595	502
兄弟公司經理之基金		
元大投信經理之基金	37,394	36,362
其他關係人	2,685	2,093
	$ 69,918	$ 64,203

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 743	$ 332
元大證券(股)公司	76,878	68,472
元大證券(香港)有限公司	13,789	6,039
元大證券株式會社	1,370	1,741
兄弟公司經理之基金		
元大投信經理之基金	111,669	102,244
其他關係人	7,672	6,144
	$ 212,121	$ 184,972

13. 證券佣金收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 3,437	$ 5,429

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 10,605	$ 14,505
元大證券(香港)有限公司	4	-
	$ 10,609	$ 14,505

14. 受託結算交割服務費收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ -	$ 6,630

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ -	$ 22,989

15. 顧問費收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ -	$ -

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ -	$ 45

16. 其他營業收益－協銷收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券投資信託(股)公司	$ -	$ -

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券投資信託(股)公司	$ 1	$ 1

17. 期貨佣金支出

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 70,165	$ 74,847
元大證券(香港)有限公司	-	-
元大證券(越南)有限公司	201	-
元大證券株式會社	4	-
	$ 70,370	$ 74,847

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 217,971	$ 242,934
元大證券(香港)有限公司	9	-
元大證券(越南)有限公司	301	-
元大證券株式會社	10	-
	$ 218,291	$ 242,934

18. 勞務費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券投資顧問(股)公司	$ 900	$ 900
元大證券(股)公司	465	518
	$ 1,365	$ 1,418

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券投資顧問(股)公司	$ 2,700	$ 2,700
元大證券(股)公司	1,355	1,439
	$ 4,055	$ 4,139

19. 電腦資訊費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 114	$ 114

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 342	$ 342

20. 利息收入

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 84,100	$ 21,790
元大證券(股)公司	-	-
元大人壽保險(股)公司	13	13
元大證券(香港)有限公司	-	7
元大證券(越南)有限公司	119	-
元大證券株式會社	1	-
	$ 84,233	$ 21,810

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 157,630	$ 67,960
元大證券(股)公司	-	19
元大人壽保險(股)公司	39	40
元大證券(香港)有限公司	-	7
元大證券(越南)有限公司	223	-
元大證券株式會社	4	-
	$ 157,896	$ 68,026

利息收入包含銀行活期存款、定期存款、客戶保證金及營業保證金之利息收入，有關營業保證金說明詳附註六(六)。

21. 借券費用

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 6	$ -

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大證券(股)公司	$ 7	$ -

22. 財務成本

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 1	$ 1
元大證券(香港)有限公司	41	-
元大證券(股)公司	1,362	252
元大證券株式會社	174	1
元大人壽保險(股)公司	13	13
兄弟公司經理之基金		
元大投信經理之基金	3	736
	$ 1,594	$ 1,003

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
兄弟公司		
元大銀行(股)公司	$ 6	$ 3
元大證券(香港)有限公司	49	-
元大證券(股)公司	1,748	701
元大證券株式會社	204	4
元大人壽保險(股)公司	39	40
兄弟公司經理之基金		
元大投信經理之基金	2,001	1,275
	$ 4,047	$ 2,023

23. 捐贈

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
財團法人元大文教基金會	$ -	$ -
財團法人元大寶華綜合經濟研究院	-	-
	$ -	$ -

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
財團法人元大文教基金會	$ 2,400	$ 4,000
財團法人元大寶華綜合經濟研究院	950	1,050
	$ 3,350	$ 5,050

24. 財產交易

	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
持有金融資產			
兄弟公司經理之基金			
元大投信經理之基金	$ 510	$ -	$ -

民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日處分受益憑證之利益(損失)分別為$0、$146、($2,669)及$6,927。

(四)主要管理階層薪酬資訊

	111年7月1日至9月30日	110年7月1日至9月30日
薪資及其他短期員工福利	$ 104,825	$ 57,470
退職後福利	1,128	1,185
其他長期福利	475	480
總計	$ 106,428	$ 59,135

	111年1月1日至9月30日	110年1月1日至9月30日
薪資及其他短期員工福利	$ 225,285	$ 175,060
退職後福利	3,339	3,572
其他長期福利	1,442	1,439
總計	$ 230,066	$ 180,071

八、質押之資產

無。

九、重大承諾或有負債及未認列之合約承諾

本集團截至民國 111 年 9 月 30 日止,已簽訂資本支出之合約價款金額為$323,637 仟元，其中已支付$91,008 仟元，尚未支付價款計$232,629 仟元。

十、重大之災害損失

無。

十一、從事衍生工具交易相關資訊

本集團從事交易目的之衍生工具交易，相關明細如下：

111年9月30日

項目	交易種類	未平倉部位 買/賣方	未平倉部位 契約數	合約金額或支付(收取)之權利金	公允價值	備註
期貨契約(國內)	大型臺指期貨	買方	14口	$ 38,002	$ 37,503	
	大型臺指期貨	賣方	5口	(13,345)	(13,394)	
	小型臺期貨	買方	339口	230,446	226,962	
	小型臺期貨	賣方	64口	(42,743)	(42,863)	
	股票期貨	買方	543口	96,468	91,923	
	股票期貨	賣方	2,947口	(302,666)	(287,686)	
	黃金期貨	買方	6口	3,196	3,200	
	黃金期貨	賣方	26口	(13,782)	(13,822)	
	小型金融期貨	賣方	4口	(1,447)	(1,450)	
期貨契約(國外)	外匯期貨	買方	20口	61,584	63,461	
	外匯期貨	賣方	1口	(2,765)	(2,764)	
	金屬期貨	買方	2口	10,984	10,617	
	指數期貨	買方	3口	3,228	3,255	
	指數期貨	賣方	28口	(41,683)	(41,112)	
選擇權契約(國內)	臺指選擇權	買進買權	608口	4,395	2,419	
	臺指選擇權	買進賣權	933口	37,669	53,304	
	臺指選擇權	賣出買權	852口	(3,421)	(1,525)	
	臺指選擇權	賣出賣權	670口	(19,858)	(28,515)	

註：本集團未從事衍生工具避險交易。

110年12月31日

項目	交易種類	未平倉部位 買/賣方	未平倉部位 契約數	合約金額或支付(收取)之權利金	公允價值	備註
期貨契約(國內)	大型臺指期貨	買方	4口	$ 14,533	$ 14,567	
	小型臺指期貨	買方	6口	5,484	5,467	
	小型臺指期貨	賣方	27口	(24,574)	(24,582)	
	股票期貨	買方	462口	133,635	135,388	
	股票期貨	賣方	1,045口	(221,912)	(225,729)	
	金融期貨	買方	1口	1,714	1,714	
期貨契約(國外)	能源期貨	賣方	2口	(4,180)	(4,164)	
	金屬期貨	買方	2口	990	1,012	
	指數期貨	買方	5口	17,067	17,039	
	指數期貨	賣方	5口	(20,604)	(20,567)	
	外匯期貨	買方	15口	41,809	41,595	
選擇權契約(國內)	臺指選擇權	買進買權	45口	589	780	
	臺指選擇權	買進賣權	48口	514	439	
	臺指選擇權	賣出買權	48口	(575)	(611)	
	臺指選擇權	賣出賣權	45口	(516)	(315)	

註：本集團未從事衍生工具避險交易。

110年9月30日

項　　目	交易種類	未平倉部位 買/賣方	未平倉部位 契約數	合約金額或支付(收取)之權利金	公允價值	備註
期貨契約	大型臺指期貨	買方	10口	$ 33,003	$ 33,811	
(國內)	小型臺指期貨	買方	54口	45,688	45,681	
	小型臺指期貨	賣方	20口	(16,855)	(16,939)	
	股票期貨	買方	250口	82,564	81,062	
	股票期貨	賣方	1,887口	(179,311)	(177,348)	
	金融期貨	賣方	11口	(17,576)	(17,450)	
	電子期貨	買方	2口	6,601	6,326	
	黃金期貨	買方	30口	14,534	14,471	
期貨契約	能源期貨	買方	1口	2,551	2,566	
(國外)	能源期貨	賣方	2口	(4,156)	(4,179)	
	金屬期貨	買方	2口	971	979	
	金屬期貨	賣方	1口	(4,942)	(4,893)	
	指數期貨	買方	12口	24,637	24,363	
	指數期貨	賣方	1口	(744)	(734)	
	外匯期貨	買方	15口	41,936	42,001	
選擇權契約	臺指選擇權	買進買權	587口	2,905	2,336	
(國內)	臺指選擇權	買進賣權	301口	2,797	2,975	
	臺指選擇權	賣出買權	614口	(4,781)	(3,964)	
	臺指選擇權	賣出賣權	285口	(2,543)	(2,487)	

註：本公司未從事衍生工具避險交易。

十二、依期貨交易法相關規定，本公司應符合財務比率之限制及其執行情形

法令依據：期貨商管理規則

規定條次	計算公式	本期 計算式	本期 比率	上期 計算式	上期 比率	標準	執行情形（註三）
17	業主權益 （負債總額－期貨交易人權益）	12,568,972 2,728,275	4.61	12,038,545 842,740	14.29	≧1	符合標準
17	流動資產 流動負債	100,225,528 90,996,415	1.10	94,826,970 87,287,971	1.09	≧1	符合標準
22	業主權益 最低實收資本額(註一)	12,568,972 1,060,000	1185.75%	12,038,545 1,060,000	1135.71%	≧60% ≧40% （註二）	符合標準
22	調整後淨資本額 期貨交易人未沖銷部位所需之客戶保證金總額	10,835,079 14,590,145	74.26%	9,013,665 17,436,525	51.69%	≧20% ≧15%	符合標準

註一：「最低實收資本額」應依期貨商設置標準所定之資本額或指撥營運資金計算。

註二：專營國外期貨交易複委託業務之外國期貨商，其業主權益占最低實收資本額之標準比率分別調整為 50%及 30%。

註三：「執行情形」欄應填列是否符合財務比率之規定，並說明未符合規定時，向金管會與金管會指定之機構申報或提出改善計畫之情形。

十三、專屬期貨商業務之特有風險

(一)期貨商從事期貨經紀業務之主要風險為信用風險，且於應向客戶追繳保證金而未或無法追繳時，始會發生信用風險。本集團受託從事期貨交易均依個別客戶交易情形，每日注意其保證金額度，必要時均要求客戶追加保證金或減少交易額，以控制此風險；另本集團從事自營業務之主要風險為市場價格風險，即持有之期貨或選擇權合約市場價格受投資標的指數波動而變動，若市場指數價格與投資標的呈反向變動，將產生損失，惟本集團基於風險管理，業已設立停損點，以控制此風險。

(二)本集團從事期貨商經紀業務之特有風險說明如下：

期貨交易係具低保證金之財務槓桿特性交易，故期貨交易風險包括：當期貨市場行情不利交易人時，期貨商為維持保證金額度，得要求追繳額外保證金，若交易人無法於期限內補繳，期貨商有權代為沖銷交易人所持期貨契約；另在市場行情劇烈變動時，交易人所持有期貨契約可能無法了結，致期貨商產生損失。

(三)有關期貨自營業務之重大財務風險資訊，請詳附註二十一說明。

十四、部門別財務資訊

(一)一般性資訊—每一應報導部門收入來源之產品及勞務類型

本集團管理階層已依據營運決策者於制定決策所使用之報導資訊辨認應報導部門，依主要業務收入來源，本集團之營運部門劃分為經紀及自營部門。各部門主要收入來源之產品及勞務類型如下：

經紀部門：受託買賣主管機關公告之國內外期貨交易、上市上櫃有價證券、證券交易輔助業務，以及期貨顧問業務等業務。

自營部門：以自有資金從事主管機關公告之國內外期貨交易及國內外有價證券買賣、自營資訊系統研究開發等業務，及從事主管機關核可之槓桿保證金契約交易業務。

(二)部門資訊之衡量

1.營運部門損益、資產與負債之衡量

本集團所有營運部門損益、資產與負債之衡量原則皆與附註四所述之重要會計政策一致，其中損益績效之衡量係以稅前損益為基礎。

為建立公平合理之績效衡量制度，本集團各部門間之內部收入及費用於出具對外報表時將互相抵銷。

對於可歸屬於各營運部門之收入及費用直接歸屬於該部門損益，無法直接歸屬之間接費用及後勤支援部門費用則依據費用性質，按合理計算標準分攤至各營運部門，無法合理分攤者，列於「其他營運部門」項下。

2.應報導部門之辨識因素

本集團對應報導部門績效之衡量，係訂定明確之績效指標，定期由管理階層進行檢視及評估，並做為制定資源分配決策之參考。

(三)部門資訊之損益

	111年1至9月			
	經紀商	自營商	其他營運部門	合計
部門收益	$ 2,926,961	$ 65,303	($ 28)	$ 2,992,236
部門損益	$ 1,169,015	($ 20,847)	($ 134,971)	$ 1,013,197

	110年1至9月			
	經紀商	自營商	其他營運部門	合計
部門收益	$ 2,939,726	$ 103,951	($ 7)	$ 3,043,670
部門損益	$ 1,009,166	($ 2,155)	($ 121,595)	$ 885,416

註：本集團主要營運決策者不以營運之資產及負債作為決策之依據，得不揭露營運部門之資產及負債。

十五、重大之期後事項

本公司轉投資設立100%持股之元大國際(新加坡)有限公司乙案，業經本公司民國111年4月13日董事會通過在案，於民國111年10月20日經金管證期字第1110357536號核准，現辦理當地籌設等後續相關作業。

十六、重大交易事項相關資訊

(一)資金貸與他人：無。

(二)為他人背書保證：無。

(三)取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

(四)處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

(五)與關係人交易之手續費折讓合計達新台幣五百萬元以上：無。

(六)應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：無。

(七)其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：

編號(註一)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註二)	交易往來情形			佔合併總收益或總資產之比率
				科目	金額	交易條件	
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	現金	8,486	與一般客戶相較無顯著差異	0.01%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	客戶保證金專戶	558,631	與一般客戶相較無顯著差異	0.52%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	其他應收款	21	與一般客戶相較無顯著差異	0.00%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	期貨交易人權益	495,812	與一般客戶相較無顯著差異	0.46%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	經紀手續費收入	1,804	與一般客戶相較無顯著差異	0.06%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	期貨佣金支出	9,645	與一般客戶相較無顯著差異	0.32%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	利息收入	163	與一般客戶相較無顯著差異	0.01%
0	元大期貨	元大期貨(香港)	1	財務成本	194	與一般客戶相較無顯著差異	0.01%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	現金	18,623	與一般客戶相較無顯著差異	0.02%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	客戶保證金專戶	477,189	與一般客戶相較無顯著差異	0.44%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	其他應付款	21	與一般客戶相較無顯著差異	0.00%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	期貨交易人權益	567,117	與一般客戶相較無顯著差異	0.52%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	經紀手續費收入	9,645	與一般客戶相較無顯著差異	0.32%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	期貨佣金支出	1,804	與一般客戶相較無顯著差異	0.06%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	利息收入	194	與一般客戶相較無顯著差異	0.01%
1	元大期貨(香港)	元大期貨	2	財務成本	163	與一般客戶相較無顯著差異	0.01%

註一、編號之填寫方式如下：

1.0代表母公司

2.子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號

註二、與交易人之關係種類標示如下：

1.母公司對子公司

2.子公司對母公司

3.子公司對子公司

十七、轉投資事業相關資訊

(一)被投資公司名稱、所在地區等相關資訊如下：

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	設立日期	金管會核准日期文號	主要營業項目	原始投資金額		期末持股情形			被投資公司本期營業收入	被投資公司本期(損)益	本期認列之投資(損)益	本期現金股利	備註
						本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額					
元大期貨股份有限公司	元大期貨(香港)有限公司	香港	99.12.2	金管會證期字第0990055943號函	金融服務	1,033,971	1,033,971	34,000仟股	100.00%	952,001	$ 70,792	($ 20,352)	($ 20,352)	-	子公司
元大期貨股份有限公司	勝元期資訊股份有限公司	台灣	101.11.9	金管會證期字第1010035210號函	資訊軟體及資料處理服務業	350,000	350,000	35,000仟股	100.00%	290,870	-	(7,257)	(7,257)	-	子公司

(二)本公司直接或間接具有控制力之被投資公司之相關資訊列示如下：

1.資金貸與他人：無。

2.為他人背書保證：無。

3.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

4.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。

5.與關係人交易之手續費折讓合計達新台幣五百萬元以上：無。

6.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額	周轉率	逾期應收關係人款項		應收關係人款項期後收回金額	提列備抵損失金額
					全額	處理方式		
勝元期資訊股份有限公司	勝元期信息科技(上海)有限公司	同一集團企業	$ 118,159	不適用	$ -	不適用	$ -	$ -

7.其他：母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：無重要交易往來情形及金額。

十八、國外設置分支機構及代表人辦理處資訊

無此情形。

十九、大陸投資資訊

(一)基本資料：

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式(註1)	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資損益(註2)(二、3)	期末投資帳面價值(三)	截至本期止已匯回之投資收益
					匯出	收回						
勝元期信息科技(上海)有限公司	計算機和軟件服務業等	$ 157,209	(三)	$ 157,209	$ -	$ -	$ 157,209	$ 4,209	100	$ 1,991	$ 118,159	-

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$ 157,209	$ 174,000	$ 7,541,383

註1：投資方式區分為下列三種，標示種類別即可：
(一)直接赴大陸地區從事投資。
(二)透過第三地區公司再投資大陸(請註明該第三地區之投資公司)。
(三)透過子公司再投資大陸。

註2：本期認列投資損益欄中：
(一)若屬籌備中，尚無投資損益者，應予註明
(二)投資損益認列基礎分為下列三種，應予註明
1.經與中華民國會計師事務所有合作關係之國際性會計師事務所查核簽證之財務報表
2.經台灣母公司簽證會計師查核簽證之財務報表
3.其他。

註3：本表相關數字應以新台幣列示。

(二)直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大交易事項：無。

(三)勝元期信息科技(上海)有限公司經勝元期資訊股份有限公司董事會決議解散清算，清算基準日為民國111年6月30日，後續解散清算程序刻正進行中。本集團已無重大影響力，故停止採用權益法。

二十、主要股東資訊

期貨商股票已在證券交易所上市或於期貨商營業處所上櫃買賣者，應揭露其股權比例達百分之五以上之股東名稱、持股數額及比例。

股份 主要股東名稱	持有股數(仟股)	持股比例
元大金融控股股份有限公司	192,167	66.27%
國泰人壽保險(股)公司	23,998	8.27%
羅盛豐股份有限公司	17,711	6.10%

二十一、財務風險管理

(一)資本風險管理

本集團之資本管理目標，係為保障集團能繼續經營，維持最佳資本結構以降低資金成本，並為股東提供報酬。為了維持或調整資本結構，本集團可能會調整支付予股東之股利金額、退還資本予股東、發行新股或出售資產以降低債務。本集團採強化風險調整後之資本報酬率，以合理有效地配置集團資本。

(二)金融工具資訊

衍生工具於財報上之表達方法：請詳附註六(一)、六(二)及六(二十二)。

(三)公允價值資訊

1. 為衡量金融工具之公允價值所採用評價技術的各等級定義如下：

第一等級：企業於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。活絡市場係指有充分頻率及數量之資產或負債交易發生，以在持續基礎上提供定價資訊之市場。本集團投資之上市櫃股票投資、受益憑證及有活絡市場公開報價衍生工具等的公允價值皆屬之。

第二等級：資產或負債直接或間接之可觀察輸入值，但包括於第一等級之報價者除外。

第三等級：資產或負債之不可觀察輸入值。本集團投資之無活絡市場之權益工具投資屬之。

2.非以公允價值衡量之金融工具

(1)公允價值資訊

本集團之非以公允價值衡量之金融工具，除下表所列示之項目外，其他帳面金額係公允價值合理之近似值，故未揭露其公允價值。

	111年9月30日				
		公允價值			
	帳面金額	合計	第一等級	第二等級	第三等級
金融負債：					
應付公司債	$ 1,497,684	$ 1,443,550	$ -	$ 1,443,550	$ -

	110年12月31日				
		公允價值			
	帳面金額	合計	第一等級	第二等級	第三等級
金融負債：					
應付公司債	$ 1,497,401	$ 1,518,340	$ -	$ 1,518,340	$ -

民國110年9月30日無此情形。

(2)金融評價技術：

A.帳上之現金及約當現金、客戶保證金專戶、應收期貨交易保證金、借券保證金、應收帳款、應收帳款—關係人、其他應收款、其他應收款—關係人、槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶、其他流動資產、營業保證金、交割結算基金、存出保證金、期貨交易人權益、槓桿保證金契約交易交易人權益、應付帳款、應付帳款—關係人、其他應付款、其他應付款—關係人及其他流動負債的帳面金額係公允價值之合理近似值。

B.應付公司債：本集團發行之公司債券，係以其預期現金流量折現值估計其公允價值，約當於其帳面價值。

3. 民國 111 年 9 月 30 日、110 年 12 月 31 日及 110 年 9 月 30 日以公允價值衡量之金融工具，本集團依資產及負債之性質、特性及風險及公允價值等級之基礎分類，相關資訊如下：

111年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
上市櫃公司股票	$ 195,525	$ -	$ -	$ 195,525
受益憑證	510	-	-	510
期貨交易	5,270	-	-	5,270
選擇權交易	55,723	-	-	55,723
衍生工具資產-槓桿契約交易	-	25,835	-	25,835
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
權益證券	766,954	-	2,069,185	2,836,139
合計	$ 1,023,982	$ 25,835	$ 2,069,185	$ 3,119,002
負債				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
選擇權交易	$ 30,040	$ -	$ -	$ 30,040
應付借券-非避險	910	-	-	910
合計	$ 30,950	$ -	$ -	$ 30,950

110年12月31日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
上市櫃公司股票	$ 231,793	$ -	$ -	$ 231,793
期貨交易	16,992	-	-	16,992
選擇權交易	1,219	-	-	1,219
衍生工具資產-槓桿契約交易	-	36,525	-	36,525
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
權益證券	933,305	-	1,806,258	2,739,563
合計	$ 1,183,309	$ 36,525	$ 1,806,258	$ 3,026,092
負債				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
選擇權交易	$ 926	$ -	$ -	$ 926

110年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
上市櫃公司股票	$ 97,068	$ -	$ -	$ 97,068
期貨交易	23,365	-	-	23,365
選擇權交易	5,311	-	-	5,311
衍生工具資產-槓桿契約交易	-	21,827	-	21,827
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
權益證券	806,104	-	1,757,973	2,564,077
合計	$ 931,848	$ 21,827	$ 1,757,973	$ 2,711,648
負債				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
選擇權交易	$ 6,451	$ -	$ -	$ 6,451

4.本集團用以衡量公允價值所使用之方法及假設說明如下：

(1)於活絡市場交易之金融工具，其公允價值係依合併資產負債表日之市場報價衡量。當報價可即時且定期自證券交易所、交易商、經紀商、產業、評價服務機構或監管機構取得，且該等報價係代表在正常交易之基礎下進行之實際及定期市場交易時，該市場被視為活絡市場。本集團持有金融資產之市場報價為收盤價，該等工具係屬於第一等級。第一等級之工具主要包括權益工具及債務工具，其分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債或透過其他綜合損益按公允價值之金融資產。

(2)未在活絡市場交易之金融工具(例如於櫃檯買賣之衍生工具)，其公允價值係利用評價技術決定。評價技術將盡可能的多利用可觀察之市場資料(如有)，並盡可能少依賴企業之特定估計。若計算一金融工具之公允價值所需之所有重大參數均為可觀察資料，則該金融工具係屬於第二等級。

(3)如一項或多項重大參數並非依可觀察市場資料取得，則該金融工具係屬於第三等級。

(4)用以評估金融工具之特定評估技術包括：

A.同類型工具之公開市場報價或交易商報價。

B.其他評價技術，以決定其餘金融工具之公允價值，例如現金流量折現分析。

5.民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第一等級與第二等級間之任何移轉。

6.下表列示民國 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日第三等級之變動：

	權益工具
111年1月1日	$ 1,806,258
認列於其他綜合損益之利益或損失(註)	262,927
111年9月30日	$ 2,069,185

	權益工具
110年1月1日	$ 1,514,827
認列於其他綜合損益之利益或損失(註)	243,146
110年9月30日	$ 1,757,973

註：帳列透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價利益(損失)。

7. 有關屬第三等級公允價值衡量項目所使用評價模型之重大不可觀察輸入值之量化資訊及重大不可觀察輸入值之說明如下：

	111年9月30日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	區間 (加權平均)	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具：					
非上市上櫃 公司股票	$ 2,069,185	市場乘數法	市場流通性折減	≦40%	市場流通性折減愈高，公允價值愈低

	110年12月31日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	區間 (加權平均)	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具：					
非上市上櫃 公司股票	$ 1,806,258	市場乘數法	市場流通性折減	≦40%	市場流通性折減愈高，公允價值愈低

	110年9月30日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	區間 (加權平均)	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具：					
非上市上櫃 公司股票	$ 1,757,973	市場乘數法	市場流通性折減	≦40%	市場流通性折減愈高，公允價值愈低

8. 公允價值歸屬於第三等級之評價流程，係由風險管理部負責驗證該金融工具之公允價值，相關評價結果並經金控母公司風險管理部覆核及核准。風險管理部藉由評估資料來源之立性、可靠性、一致性及代表性，並定期驗證評價模型與校準評價參數，確保評價程序與評價結果符合國際財務報導準則公報之規定。

9. 若使用不同之評價模型或評價參數可能導致評價之結果不同。針對分類為第三等級之金融工具，若評價參數向上或下變動 1%，則對本期其他綜合損益之影響如下：

	111年9月30日	
	認列於其他綜合損益	
	有利變動	不利變動
金融資產 權益工具	$ 8,868	($ 8,868)

	110年12月31日	
	認列於其他綜合損益	
	有利變動	不利變動
金融資產 權益工具	$ 7,741	($ 7,741)

	110年9月30日	
	認列於其他綜合損益	
	有利變動	不利變動
金融資產		
權益工具	$ 5,860	($ 5,860)

(四)風險管理制度

1.風險管理目標

本集團經由持續性地提升風險管理機制的完整性，建立合理有效之風險管理方法、模型與系統，嚴密地監控整體風險的變動狀態，將集團於營運上可能發生之潛在損失，控制於資本與業務可以合理承受之範圍內。

2.風險管理制度

本集團風險管理制度係依據所屬金控公司「風險管理政策」及臺灣期貨交易所「期貨商風險管理實務守則」相關規範辦理。本集團訂有「風險管理政策」，該管理政策經董事會通過，明訂本集團執行風險管理之目的、風險管理之範圍、風險管理權責及風險管理所採行之制度，為本集團執行風險管理之內部最高準據。

3.風險管理組織

(1)本集團之風險管理組織包括董事會、審計委員會、高階管理階層、風險管理部、法令遵循部、稽核部、各業務單位與各功能性委員會，共同架構風險管理之三道防線。

A.第一道防線：各業務單位與各功能性委員會，均為日常實際擔任作業及管理之部門，為風險辨識、自我評估執行及控制落實性的單位及人員。

B.第二道防線：包括高階管理階層、風險管理部、法令遵循部，職責為依據風險胃納與標準進行風險監控、管理與緊急應變措施；除常設組織外，另參與所屬金控公司「風險管理委員會」以強化整合性之風險控管。

C.第三道防線：董事會、審計委員會及稽核部為最後一道防線，稽核部採風險導向之查核方式，以確保集團各項風險均在有效控管內。

(2)本集團風險管理組織中各主要單位功能如下：

A.董事會：董事會對集團各項營運負有風險管理之最終責任，故須充分認知營運所面臨之各項風險，決定各項風險胃納，正確配置資源，並在確保風險管理之有效性下，授權經理部門推動執行運

作。本集團董事會並定期審視風險管理部、稽核部、財務部之風險管理及其他相關報告，權衡各種影響資本配置之財務、業務相關規定，並從集團整體角度考量各種風險彙總後所產生之效果，核決風險因應策略。

B. 審計委員會：協助董事會督導各類風險管理制度之落實執行，主要職責包括：本集團風險胃納及風險容忍度之審核、風險管理政策及相關準則之審核、各類年度風險額度授權之審核、督導本集團風險管理制度之執行。

C. 風險管理部：隸屬董事會，負責本集團之市場風險、流動性風險、大額暴險及信用風險管理，並與稽核部共同管理作業風險。風險管理部主要負責集團日常風險之監控、衡量及評估等執行層面事務，獨立於業務單位及交易活動之外行使職權，直接向董事會負責。執行上透過風險管理資訊系統之運用，檢核各業務單位風險限額使用狀況，評估風險暴露及集中程度並定期提出風險管理相關報告。

D. 稽核部：稽核部為獨立之部門，與風險管理部同隸屬於董事會，專責本集團法規及內部控制制度之遵循及作業風險管理，並負責監督及確保本集團作業風險管理程序之有效執行。本集團遵循主管機關訂定之內部控制制度從事各項業務活動之稽核作業，並配合主管機關、期貨交易所或期貨公會相關規範之修正或業務需求之改變，調整各項作業風險管理程序。

E. 法令遵循部：法令遵循部專責本集團之法規遵循與交易契約文件之適法性審查，針對各項業務可能涉及之法律問題，包括商品契約及交易行為之適法性等風險，提供專業意見，並與稽核部共同落實法令遵循工作。

F. 各業務單位：業務單位負有第一線風險管理之責任。針對各項營業及交易活動，單位主管總承所屬單位全部風險管理事宜，負責分析及控管風險內容，擬定應變計畫並於必要時採取因應對策，並將相關資訊傳遞予風險管理部，以確保風控機制與程序均確實被有效執行，符合法令規範及集團風險管理政策。

4. 風險管理流程

本集團之風險管理流程分為風險辨識、風險衡量、風險管理及風險報告等 4 個程序，相關風險管理流程之設計目的在確保集團內的所有風險都能被有效的管理。

(1)風險辨識：本集團對於風險辨識主要透過業務或產品分析，辨識本集團營運過程中所面臨之風險，包括市場風險、信用風險、流動性風險、作業風險、法律風險及環境風險等。對於各種風險來源，歸納風險因子，依據風險概況選擇適當風險衡量方式，訂定適當的風險指標與準則，制定適當風險控管作業程序並與內部系統相結合。

(2)風險衡量：對於市場風險本集團採用敏感性分析及風險值(VaR)模型衡量；對於信用風險，則遵循元大金控集團信用評等制度進行；對於作業風險，透過建立標準作業流程、作業風險損失通報、作業風險控制自評及外部事件內部流程檢視等方式進行。

(3)風險管理：本集團對於風險監控與管理，主要係透過訂定各類風險限額與權責劃分來落實。對於不同性質之風險，開發不同的管理工具、風險管理資訊系統及相關報表，透過管理工具之運用，提高執行風險管理之效率和品質，使風險監控與管理成為具體、可量化且可據以執行和遵守的程序，以確保風險管理成效。

(4)風險報告：本集團風險管理執行結果藉由風險管理報表、風險資訊定期揭露以及風險管理執行結果報告，協助高階主管制訂決策，並達成風險管理目標。

5.避險與抵減風險策略

本集團依據資本規模與風險承受能力，事先檢視各項業務風險之避險工具與避險操作機制；藉由合理的避險機制，有效地將集團風險限制在事先核准之範圍內。實際避險之執行，則視市場動態、業務策略、商品特性與風險管理規範，分別運用授權之金融工具，將整體部位的風險結構與風險水準，調整至可承受的風險程度內。

6.新型冠狀肺炎病毒疫情(COVID-19)影響

本集團依據證期局證期(審)字第 1090362692 號函及 IASB 所發布因應 COVID-19 有關金融工具減損、評價及揭露議題進行評估，評估內容包括(1)繼續經營能力、(2)非金融資產減損、(3)籌資風險、(4)債券投資部位之(A)風險評估及投資後之控管因應與(B)預期信用損失，經評估結果，COVID-19 疫情對本集團無影響。本集團將繼續密切關注 COVID-19 疫情發展情況，並審慎評估及積極因應疫情對本集團財務狀況及經營績效之影響。

(五)市場風險

本集團金融資產包括銀行存款、其他經財政部核定之短期票券、投資國內上市有價證券、上櫃股票、證券投資信託基金、經主管機關核准或生效在國內募集及銷售之境外基金、期貨信託基金、從事主管機關依期貨交易法

第五條規定公告之期貨交易及其他經主管機關核准之商品等，其風險主要為市場價格及利率變動造成之金融資產價值波動。

為管理市場風險，本集團訂定市場風險管理辦法，並針對各商品風險特性分別訂定控管機制，如部位限額、損益限額及特別授權等，同時使用風險值(Value at Risk,VaR)模型進行市場風險之量化整合管理，確實衡量與監控各部位之市場風險。

市場風險值的衡量模型，本集團目前係以 99%信賴水準所估計之未來一日交易部位最大可能損失值作為衡量市場風險的標準。

[表]各類交易活動風險值統計表

統計期間 :111年1月至9月　　單位：新台幣仟元

類別	股權類	商品類	匯率類	利率類	總計
111/9/30	$ 880	$ -	$ 205	$ -	$ 725
平均	3,245	314	242	10	3,224
最低	280	-	145	-	435
最高	16,892	2,361	1,282	267	17,046

統計期間 :110年1月至9月　　單位：新台幣仟元

類別	股權類	商品類	匯率類	利率類	總計
110/9/30	$ 996	$ 122	$ 216	$ -	$ 796
平均	2,964	317	437	-	2,990
最低	283	1	212	-	461
最高	23,814	1,391	739	-	23,743

註 1：本表風險值交易活動範圍包括期貨自營業務、證券自營業務，但不包括有價證券中長期投資。

註 2：總計類風險值可能小於股權、商品、匯率、利率 4 類風險值之加總，係因不同類別部位間之風險分散效果所致。

為使風險值模型能合理地、完整地、正確地衡量該金融工具或投資組合之最大潛在風險，本集團持續進行模型驗證與回溯測試，以確保所採用之模型能夠合理有效衡量金融工具或投資組合之最大潛在風險。

(六)信用風險

1. 本集團從事金融交易所暴露之信用風險，包括發行人信用風險、交易對手信用風險、保管機構信用風險及標的資產信用風險：

(1)發行人信用風險係指本集團持有金融債務工具或存放於銀行之存款，因發行人(或保證人)或銀行，發生違約、破產或清算而未依約定條件履行(或代償)義務，而使本集團蒙受財務損失之風險。

(2)交易對手信用風險係指與本集團承作金融工具之交易對手於約定日期未履行交割或支付義務，而使本集團蒙受財務損失之風險。

(3)保管機構信用風險係指本集團存放於複委託期貨商之期貨交易保證金或權利金，因保管機構發生違約、破產或清算而未依約定條件履行其債務清償責任，而使本集團蒙受財務損失之風險。

(4)標的資產信用風險係指因金融工具所連結之標的資產信用品質轉弱、信用貼水上升、信用評等調降或發生符合契約約定之違約情事而產生損失之風險。

2.本集團面臨信用風險之金融資產包括銀行存款、店頭市場(Over-the-Counter，OTC)衍生工具之交易、債(票)券附條件交易、有價證券借貸交易(以下簡稱借券交易)存出保證金、期貨交易保證金、其他存出保證金[1]及應收款項[2]等。

(1)信用風險集中度分析

A.地區別：

本集團金融資產信用風險暴險金額之地區分布(如下表)，暴險地區集中於台灣(比重為 89.42%)，其次為亞洲(不含台灣，比重為 5.17%)，再其次為歐洲(比重為 4.42%)。與去年同期相較，台灣地區暴險比重略降，美洲地區暴險比重略升。

[表]金融資產信用風險暴險金額地區分布表

地區別	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
台灣	$ 93,072,546	$ 85,529,878	$ 88,403,228
亞洲(不含台灣)	5,378,756	4,614,585	5,377,424
歐洲	4,601,580	3,742,773	4,131,336
美洲	1,030,355	154,027	224,915
其他	6,715	4,255	1,497
合計	$ 104,089,952	$ 94,045,518	$ 98,138,400

B.產業別：

本集團金融資產信用風險暴險金額之產業分布(如下表)，暴險產業集中於金融機構(比重為 99.77%)，其他產業之比例未達 1%，主要係因本集團自有資金及客戶保證金皆存放於銀行等金融機構，以及本集團承作衍生工具交易、附賣回交易之交易對手均為銀行、期貨結算機構及複委託期貨商等金融機構所致，該比例與去年同期相較變化不大。

[1]其他存出保證金係包含營業保證金、交割結算基金與存出保證金等。

[2]應收款項係包含應收帳款、其他應收款及受託買賣應收款等。

[表]金融資產信用風險暴險金額產業分布表

產業別	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
民營企業	$ 510	$ -	$ -
金融機構	103,852,296	93,906,283	97,993,019
公營事業	60,058	14,025	7,007
其他	177,088	125,210	138,374
合計	$ 104,089,952	$ 94,045,518	$ 98,138,400

(2)信用風險品質分析

A.本集團內部信用風險分級，可分為優良、尚可、低於標準、其他等級，各等級定義如下表：

(A)優良：表示該公司或標的具有穩健程度以上之財務承諾履約能力，即使面臨重大之不確定因素或暴露於不利之條件，亦能維持其財務承諾履約能力。

(B)尚可：表示該公司或標的之財務承諾能力在可接受之範圍，處於不利經營、財務或經濟條件下，將削減其財務承諾履約能力。

(C)低於標準：表示該公司或標的之財務承諾能力較為脆弱，該公司是否能履行承諾，將視經營環境與財務狀況是否有利而定。

(D)其他：表示該公司或標的未依約履行其義務，或因其他原因未能(或無須)進行內部信用風險分級。

B.本集團金融資產依據上述信用品質分類結果如下表。信用風險分級結果「優良」者比重占 96.78%，信用風險分級結果「尚可」者比重占 3.10%。與去年同期相較，本集團金融資產信用品質分類結果變化不大，「優良」者比重略降、「尚可」者比重略增、「低於標準」者比重略降。

[表]金融資產信用風險暴險金額信用品質分類表

品質分類別	111年9月30日	110年12月31日	110年9月30日
優良	$ 100,734,288	$ 91,918,498	$ 95,574,980
尚可	3,228,832	1,785,697	2,131,212
低於標準	126,832	341,323	432,208
合計	$ 104,089,952	$ 94,045,518	$ 98,138,400

3.本集團採用 IFRS 9 提供以下之前提假設，作為判斷自原始認列後金融工具之信用風險是否有顯著增加之依據：

(1)當應收款項(應收期貨交易保證金及其他應收款)按約定之支付條款逾期超過 30 天或未逾期超過 30 天惟違反合約規定者，視為金融資產自原始認列後信用風險已顯著增加。

(2)存出保證金非屬特殊合約原因及已到期未歸還大於 30 天者。

(3)債務工具於資產負債表日，信用參照主體之信用評等為非投資等級，且下列任一指標觸及，即判定為信用風險顯著增加。

A.信用參照主體之信用評等相較於原始認列日下降超過一定等級以上；

B.債務工具價格隱含之信用利差相較於原始認列日超過一定基本點以上。

(4)已違約金融資產之定義

A.本集團採用 IFRS 9 提供前提假設，當款項按約定之支付條款逾期超過 90 天(含)，視為已發生違約。

B.本集團債務工具投資符合以下任一項，視為已違約。

(A)購買時為信用減損債券。

(B)財務報導日時，信用評等為違約等級債券。

(C)未依發行條件還本或付息。

(D)因信用狀況導致發行人修改發行條件遞延或不支付利息。

(E)發行人或保證機構有停止營運、申請重整、破產、解散、出售對公司繼續營運有重大影響之主要資產等情事發生。

(5)沖銷政策

本集團對回收金融資產之整體或部分無法合理預期時，沖銷該金融資產之整體或部分。

(6)預期信用損失之衡量及前瞻性資訊之考量

應收期貨交易保證金

取得過去歷史損失率(以過去三年歷史損失經驗為基礎並檢視過去與現時經濟環境與未來整體環境(前瞻性因子)後是否有重大變化，適當調整未來之損失率標準。)

A.本集團應收期貨交易保證金之帳面價值總額、備抵損失及最大暴險金額如下說明：

	111年9月30日			
		按存續期間		
	按12個月	信用風險已顯著增加	已信用減損者	
	未逾期或逾期不超過30天	逾期超過30天	逾期超過90天	合計
預期損失率	0%	100%	100%	
帳面價值總額	$ -	$ -	$ 105,743	$ 105,743
備抵損失	$ -	$ -	($ 105,743)	($ 105,743)
最大暴險金額	$ -	$ -	$ -	$ -

	110年12月31日			
		按存續期間		
	按12個月	信用風險已顯著增加	已信用減損者	
	未逾期或逾期不超過30天	逾期超過30天	逾期超過90天	合計
預期損失率	0%	99.66%	100%	
帳面價值總額	$ -	$ -	$ 107,770	$ 107,770
備抵損失	$ -	$ -	($ 107,770)	($ 107,770)
最大暴險金額	$ -	$ -	$ -	$ -

	110年9月30日			
		按存續期間		
	按12個月	信用風險已顯著增加	已信用減損者	
	未逾期或逾期不超過30天	逾期超過30天	逾期超過90天	合計
預期損失率	0%	99.66%	100%	
帳面價值總額	$ -	$ -	$ 117,594	$ 117,594
備抵損失	$ -	$ -	($ 117,594)	($ 117,594)
最大暴險金額	$ -	$ -	$ -	$ -

B.本集團應收期貨交易保證金之備抵損失變動表說明如下：

	111年			
		按存續期間		
	按12個月	信用風險已顯著增加	已信用減損者	
	未逾期或逾期不超過30天	逾期超過30天	逾期超過90天	合計
1月1日	$ -	$ -	($ 107,770)	($ 107,770)
減損損失迴轉	-	-	2,027	2,027
9月30日	$ -	$ -	($ 105,743)	($ 105,743)

	110年			
		按存續期間		
	按12個月	信用風險已顯著增加	已信用減損者	
	未逾期或逾期不超過30天	逾期超過30天	逾期超過90天	合計
1月1日	$ -	$ -	($ 120,901)	($ 120,901)
減損損失迴轉	-	-	3,307	3,307
9月30日	$ -	$ -	($ 117,594)	($ 117,594)

（七）流動性風險分析

1. 資金流動性風險係指無法在預期之時間內取得足夠之資金供給，以致不能履行到期資金需求之風險。本集團流動性風險管理係依照各業務性質，訂定有資金流動性指標，針對集團流動比率、集團借款額度與資金缺口設定預警指標，事先評估各期限可能之資金缺口，有效控管整體資金之流動性風險外，並預先建立足以因應系統性風險事件或異常資金流動發生時之資金調度計畫，以充分因應本集團流動性風險。為確保流動性資產具備變現性、市場性與安全性之原則下，訂有資金運用風險管理相關規範，包括銀行存款、債券、附條件交易等，皆須符合內部評等一定等級以上，並定期監控部位與流動性概況。

（以下空白）

2. 本集團金融負債到期分析如下表所示，集團之營運資金足以支應未來之資金需求，故未有因無法籌措資金以履行合約義務之流動風險。

111年9月30日金融負債現金流量分析表

科目代號	金融負債	付款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
212000	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	$ 30,950	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 30,950
214080	期貨交易人權益	92,716,368	-	-	-	-	92,716,368
214100	槓桿保證金契約交易交易人權益	437,901	-	-	-	-	437,901
214130	應付帳款	12,377	155,065	-	-	-	167,442
214140	應付帳款－關係人	-	23,950	-	-	-	23,950
214170	其他應付款	-	90,190	170,268	39	-	260,497
214180	其他應付款－關係人	-	1,171	-	-	-	1,171
216000	租賃負債－流動	-	12,459	32,933	-	-	45,392
219000	其他流動負債	-	185	7,315	-	-	7,500
221100	應付公司債	-	-	-	-	1,497,684	1,497,684
226000	租賃負債－非流動	-	-	-	87,264	-	87,264
	合計	$ 93,197,596	$ 283,020	$ 210,516	$ 87,303	$ 1,497,684	$ 95,276,119
	佔整體比重	97.82%	0.30%	0.22%	0.09%	1.57%	100.00%

110年12月31日金融負債現金流量分析表

科目代號	金融負債	付款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
212000	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	$ 926	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 926
214080	期貨交易人權益	83,178,336	-	-	-	-	83,178,336
214100	槓桿保證金契約交易交易人權益	282,808	-	-	-	-	282,808
214130	應付帳款	13,717	123,139	-	-	-	136,856
214140	應付帳款－關係人	-	19,749	-	-	-	19,749
214170	其他應付款	-	183,344	6,539	1,939	197	192,019
214180	其他應付款－關係人	-	1,842	-	-	-	1,842
216000	租賃負債－流動	-	13,424	38,836	-	-	52,260
219000	其他流動負債	-	24,904	6,271	-	-	31,175
221100	應付公司債	-	-	-	-	1,497,401	1,497,401
226000	租賃負債－非流動	-	-	-	118,224	-	118,224
	合計	$ 83,475,787	$ 366,402	$ 51,646	$ 120,163	$ 1,497,598	$ 85,511,596
	佔整體比重	97.62%	0.43%	0.06%	0.14%	1.75%	100.00%

110年9月30日金融負債現金流量分析表

科目代號	金融負債	付款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
212000	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動	$ 6,451	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 6,451
214080	期貨交易人權益	88,788,384	-	-	-	-	88,788,384
214100	槓桿保證金契約交易交易人權益	248,363	-	-	-	-	248,363
214130	應付帳款	2,348	136,345	-	-	-	138,693
214140	應付帳款－關係人	-	20,805	-	-	-	20,805
214170	其他應付款	-	43,214	89,437	1,939	197	134,787
214180	其他應付款－關係人	-	1,619	-	-	-	1,619
216000	租賃負債－流動	-	13,321	39,802	-	-	53,123
219000	其他流動負債	-	16,978	5,678	-	-	22,656
226000	租賃負債－非流動	-	-	-	127,736	-	127,736
	合計	$ 89,045,546	$ 232,282	$ 134,917	$ 129,675	$ 197	$ 89,542,617
	佔整體比重	99.45%	0.26%	0.15%	0.14%	0.00%	100.00%

111年9月30日現金流量缺口表

科目代號	金融資產	收款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
111100	現金及約當現金	$ 951,204	$ 4,970,111	$ 3,568,654	$ -	$ -	$ 9,489,969
112000	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	282,863	-	-	-	-	282,863
113200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	654,477	-	-	-	-	654,477
114070	客戶保證金專戶	93,003,136	-	-	-	-	93,003,136
114080	應收期貨交易保證金	105,743	-	-	-	-	105,743
114100	借券保證金	893	-	-	-	-	893
114130	應收帳款	-	3,961	-	-	-	3,961
114140	應收帳款－關係人	-	1,147	-	-	-	1,147
114170	其他應收款	-	44,968	8,521	-	-	53,489
114180	其他應收款－關係人	-	13,515	118,161	-	-	131,676
114300	槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶	566,470	-	-	-	-	566,470
123200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	-	-	-	-	2,181,662	2,181,662
129010	營業保證金	-	-	-	-	146,066	146,066
129020	交割結算基金	-	-	-	-	459,865	459,865
129030	存出保證金	-	-	-	40,199	-	40,199
	小計	$ 95,564,786	$ 5,033,702	$ 3,695,336	$ 40,199	$ 2,787,593	$ 107,121,616
	現金流入	$ 95,564,786	$ 5,033,702	$ 3,695,336	$ 40,199	$ 2,787,593	$ 107,121,616
	現金流出	93,197,596	283,020	210,516	87,303	1,497,684	95,276,119
	資金缺口金額	$ 2,367,190	$ 4,750,682	$ 3,484,820	($ 47,104)	$ 1,289,909	$ 11,845,497

110年12月31日現金流量缺口表

科目代號	金融資產	收款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
111100	現金及約當現金	$ 1,377,991	$ 2,182,140	$ 5,743,955	$ -	$ -	$ 9,304,086
112000	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	286,529	-	-	-	-	286,529
113200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	806,830	-	-	-	-	806,830
114070	客戶保證金專戶	83,476,983	-	-	-	-	83,476,983
114080	應收期貨交易保證金	107,770	-	-	-	-	107,770
114130	應收帳款	-	4,057	-	-	-	4,057
114140	應收帳款－關係人	-	2,002	-	-	-	2,002
114170	其他應收款	-	12,948	1,876	-	-	14,824
114180	其他應收款－關係人	-	4,236	30	-	-	4,266
114300	槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶	347,405	-	-	-	-	347,405
123200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	-	-	-	-	1,932,733	1,932,733
129010	營業保證金	-	-	-	-	145,326	145,326
129020	交割結算基金	-	-	-	-	544,465	544,465
129030	存出保證金	-	-	-	39,598	-	39,598
	小計	$ 86,403,508	$ 2,205,383	$ 5,745,861	$ 39,598	$ 2,622,524	$ 97,016,874
	現金流入	$ 86,403,508	$ 2,205,383	$ 5,745,861	$ 39,598	$ 2,622,524	$ 97,016,874
	現金流出	83,475,787	366,402	51,646	120,163	1,497,598	85,511,596
	資金缺口金額	$ 2,927,721	$ 1,838,981	$ 5,694,215	($ 80,565)	$ 1,124,926	$ 11,505,278

110年9月30日現金流量缺口表

科目代號	金融資產	收款期間 即期	3個月內	3至12個月內	1至5年內	5年以後	合計
111100	現金及約當現金	$ 1,346,126	$ 2,194,109	$ 4,307,644	$ -	$ -	$ 7,847,879
112000	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	147,571	-	-	-	-	147,571
113200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－流動	698,392	-	-	-	-	698,392
114070	客戶保證金專戶	89,059,853	-	-	-	-	89,059,853
114080	應收期貨交易保證金	117,594	-	-	-	-	117,594
114130	應收帳款	-	13,557	-	-	-	13,557
114140	應收帳款－關係人	-	3,339	-	-	-	3,339
114170	其他應收款	-	13,036	1,219	-	-	14,255
114180	其他應收款－關係人	-	3,589	214	-	-	3,803
114300	槓桿保證金契約交易客戶保證金專戶	293,463	-	-	-	-	293,463
119990	其他流動資產	-	2	159	-	-	161
123200	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	-	-	-	-	1,865,685	1,865,685
129010	營業保證金	-	-	-	-	145,368	145,368
129020	交割結算基金	-	-	-	-	549,141	549,141
129030	存出保證金	-	-	-	39,645	-	39,645
	小計	$ 91,662,999	$ 2,227,632	$ 4,309,236	$ 39,645	$ 2,560,194	$ 100,799,706
	現金流入	$ 91,662,999	$ 2,227,632	$ 4,309,236	$ 39,645	$ 2,560,194	$ 100,799,706
	現金流出	89,045,546	232,282	134,917	129,675	197	89,542,617
	資金缺口金額	$ 2,617,453	$ 1,995,350	$ 4,174,319	($ 90,030)	$ 2,559,997	$ 11,257,089

（八）匯率風險

1. 本集團從事之業務涉及若干非功能性貨幣，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產及負債資訊如下：

（外幣:功能性貨幣）	111年9月30日		110年12月31日		110年9月30日	
金融商品	外幣(仟元)	匯率	外幣(仟元)	匯率	外幣(仟元)	匯率
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$ 1,174,273	31.7500	$ 992,624	27.6800	$1,092,160	27.8500
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	1,137,942	31.7500	982,275	27.6800	1,084,263	27.8500

2. 民國 111 年及 110 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 111 年及 110 年 1 月 1 日至 9 月 30 日本集團貨幣性項目因匯率波動具重大影響之全部兌換損益（含已實現及未實現）彙總金額分別為$52,506、$1,450、$78,789 及($4,688)。

（以下空白）